

## 資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料

—— 戦前の文化活動を中心に ——

藤野 志 織\*

### はじめに

関西日仏学館は、1927年10月に京都の九条山に開館したフランス政府公認の教育・文化機関である（図1）。1927年2月まで駐日フランス大使を務めたポール・クローデルの主唱のもと、実業家・貴族院議員であった稲畑勝太郎を中心に関西の財界人の後押しを受けて創立された。1936年5月に京都帝国大学の隣、吉田泉殿町の新館に活動の拠点を移し、戦争の災禍を被りながらも、今日に至るまで日仏交流の拠点として重要な役割を果たしてきた。

そして、2015年に発足した京都大学人文科学研究所のみやこの学術資源研究・活用プロジェクトの一部門である「京都における日欧文化学術交流史」（2023年より人文情報学創新センター「近現代史料研究セッション」として再編）は、これまで関西日仏学館の資料コーパスの構築を目指し、調査を進めてきた。資料は一部学館に所蔵されているものの、その大部分はフランスの外交文書館に保管されている。よって、学館所蔵資料の調査と並行して、パリ郊外のラ・クルヌーヴおよびフランス西部のナントにある二つの外交文書館に通い、資料の撮影と目録化を行った。また、学館関係者の遺族を訪ね、時にはニース、ブルジュ、ラニオンまで足を延ばし、資料収集とインタビューを行った。最近の調査では、学館と関係の深い東京の日仏会館には未発見の資料が多く



図1 関西日仏学館（1927年）

\*ふじの しおり 京都大学人文科学研究所

保管されていることがわかった。

このように学館に関する資料はあちこちに散逸しており、資料の種類（文書、写真、証言、遺品など）も、その性質（公的なもの、私的なもの）もさまざまである。そのため、データの整理を終え、一般公開に至るまで、まだ数年かかることが見込まれる。よって本稿は、経過報告を兼ねて、学館館長の紹介（1927～1953年）、および学館、日仏会館、独逸文化研究所における戦前の文化プログラムの紹介を行う。というのも、本プロジェクトの成果は折々学術研究に役立てられてきたが、そのなかで、館長がどのようなキャリアを持つ人物であったのか、学館の支柱であった文化事業は具体的ななどのような内容であったのかについては、必ずしも詳かにされてこなかったためである。よって、この欠如を補い、往時の学館の活動をより立体的に浮かび上がらせることが本稿の狙いである。とはいえ、「学術研究」と肩肘を張らずとも、写真を眺めながら、京都に吹いたフランスの風を少しでも感じてもらえるなら、これ以上嬉しいことはない。

最後に、調査に快く協力し、貴重な資料を提供くださったドニ・リュエラン氏、ジョージアヌ・リュエラン氏、エリザベス・リュエラン氏、セヴリーヌ・マイヨ氏、フランソワ・シュール氏、ベルナル・トマン氏、山田稔氏に心より感謝を捧げたい。

## 関西日仏学館の館長たち

### 1. フランシス・リュエラン（1927年10月～1930年12月）

学館の初代主事となったフランシス・リュエランは、フランスで地理学と歴史学を修めたのち、フランス外務省の指令を受け、東京の日仏会館に派遣される（図2）。クロードルを助け、関西日仏学館の設立に尽力するとともに、東京帝国大学の地理学者山崎直方の下で「日本の地理」の研究に従事する<sup>1)</sup>。1926年から1931年にかけて、日仏会館および学館において講義を行い、東京帝国大学、台北帝国大学（台湾）、そのほか東京、京都、大阪、神戸のさまざまな機関で講演を行った。また、朝鮮、満州、中国北部へ調査に赴いている<sup>2)</sup>。彼の仕事が地図の作成と関わるだけに、こうした精力的な活動は特高警察の注意



図2 日仏会館のテラスにて。右から二人目がフランシス、三人目がアネット（1926年3月）

を引き、1930年には「要注意外国人」としてマークされることになる<sup>3)</sup>。

リュエラン個人が軍事的・政治的な意図を持って研究を遂行したとは思えないが、フランス政府からの依頼によって調査が行なわれたとする資料も残っており<sup>4)</sup>、第二次世界大戦へと落ち込んでいく時期であるだけに、地理学の仕事は極めてセンシティブな問題を孕んでいたと言える。彼の研究は、フランス帰国後、博士論文としてまとめられ、1940年に『関西 (*Le Kwansai*)』と題して刊行された。800頁以上、184枚の図版、52葉の写真を盛り込んだ極めて浩瀚な研究書である。「フランスで一番重たい地理の本」と冗談混じりに語られたというエピソードも残る<sup>5)</sup>。

フランス帰国後も、リュエランはパリの高等教育機関で教鞭を執るだけでなく、アメリカ合衆国、ハワイ諸島、満州、シベリア、中南米で調査を行うなど旺盛に活動した。1941年よりブラジル大学哲学科教授として地理学を講じ、1956年12月までこの地に留まった。特筆すべきは、ブラジル遷都に際して、1947年にブラジル連邦より、候補地選定調査団のリーダーに任じられ、これを指揮したということである<sup>6)</sup>。

このように、リュエランは文字通り国境を越え、あちこちに大きな足跡を残してきた。しかし、その業績が彼一人の力によって成し遂げられたものでないことにも、やはり注意を促しておく必要があるだろう。ここで紹介したいのは、彼の生涯の伴侶であったアネットの存在である。関西日仏学館の事業に関しても、女子部を創設し、女子生徒を受け入れる基盤を築いたアネットの功績は無視できない（図3）。

アネット・リュエラン（旧姓：Scheer、ドイツ語名：Anna Margaretha）は、1902年にストラスブールの教養あるブルジョワ家庭に生まれ、青春時代をドイツ占領下のアルザスで過ごす（図4）。遺族によると、のちの夫となるフランシスと出会ったのは、1918年12月8日



図3 女子部の生徒とアネット



図4 少女時代のアネット



図5 中央でアルザスの民族衣装に身を包んだ女性がアネット、その左隣がフランシス（1918年12月）

から9日にかけて行われた、アルザス・ロレーヌ解放を祝う祭りであったらしい（図5）。アネットは大学進学を目指して勉学に励んでいたが、1921年にフランシスと結婚。進学を断念し、若き地理学者であったフランシスの研究を手伝うようになった。このように書くと、「内助の功」という表現を想起する方も多岐にわたるかもしれない。しかし、フランシスの名前でなされた仕事の大部分は、実際のところ、アネットと二人の「デュオ」であったというドニ・リュエラン氏の言葉は、まさに二人の関係の本質をずばり射るもののように思われる（図6）。

アネットは自らも筆を執った。単著として『アルザス、抵抗の地（*Alsace, Terre de la résistance*）』（1944）、フランシスとの共訳書として『ブラジルの類型と諸相（*Types et Aspects du Brésil*）』（1957）がある。ブラジルで刊行された『アルザス、抵抗の地』の最終章では、執筆当時ナチスの占領に苦しんでいたフランスと、少女時代のドイツ統治下のアルザスが重ねられ、まもなく訪れる解放に希望を抱かせる記述がなされている。これは、故郷フランスから遠く離れたブラジルに身を置くアネットの、ささやかな「抵抗」として読むこともできるだろう。

また、幼少期を日本で過ごした長男クロード・リュエラン氏の遺族が保管する写真のなかに



図6 関西日仏学館の庭にて。リュエラン夫妻の間にいるのは長男クロード（1927年11月）



図7 前列中央に竹内栖鳳。後列左端に、リュエラン夫妻の通訳を務めた宮本正清



図8 九条山にて。二列目にリュエラン一家と宮本正清の姿がある

は、京都画壇を代表する画家竹内栖鳳との交流を示す一枚や（図7）、フランスという国が当時いかに多くの女性を惹きつけたかを窺わせる一枚（図8）が含まれており、こうした写真群の分析を通して、文書として残らない当時の様子や交友関係が徐々に解明されることが期待される。

【略年譜】

- 1894年 9月30日、ブルターニュ地方の街レンヌ（Rennes）に生まれる  
レンヌ大学で学士号取得（歴史・地理学）  
パリ大学で教授資格取得（歴史・地理学）
- 1916年8月  
～1919年9月 従軍
- 1921年 Annette Scheer と結婚
- 1923～1924年 カンペール高校教員，海軍兵学校地理学教授を歴任
- 1925年 外務省に出向。東京の日仏会館研究員に任命される  
長男 Claude 誕生
- 1926年 リュエラン一家来日  
比叡山でフランス語講座を開くことを提案  
駐日フランス大使ポール・クロードルより，日仏文化協会および関西日仏学館  
の設立準備を任される
- 1926年2月  
～1927年3月 東京の日仏会館研究員として研究に従事
- 1927年 10月22日，関西日仏学館が九条山に開館。初代主事となる
- 1930年 12月28日，学館主事を辞任  
その後，妻子とともにフランスへ帰国
- 1940年 パリ大学へ『関西 日本の一地域の地形学的研究』と題する博士論文を提出  
文学博士号を取得（地理学）
- 1975年 10月3日，ブルターニュ地方ラ・リシャルデ（La Richardais）にて死去

【主要著作など】

- Francis Ruellan, *La décomposition et la désagrégation du granite à biotite au Japon et en Corée et les formes dumodèle qui en résultent*, Librairie Armand Colin, 1931.
- Francis Ruellan, *Le Kwansai*, Tours: Arrault, 1940.
- Léopold Berthois, Francis Ruellan, *Le Rôle des nappes d'eau pluviale ruisselante dans le modèle du Brésil*, Laboratoire de géomorphologie de l'École pratique des hautes études, 1952.
- Francis Ruellan, *Photogrammétrie et interprétation de photographies stéréoscopiques terrestres et aériennes*, Masson et Cie, 1967.

2. ジョルジュ・ボノー（1930年12月～1932年3月）

ボノーについて記述しようとして覚える戸惑いは，リュエランの業績に対して抱く驚きと別種のものだ。その最大の焦点は，フランス象徴主義研究から日本詩歌研究への鮮やかな転身である。彼は哲学，古典文学の学士号をそれぞれ取得した後，28歳の時，ソルボンヌ大学で文学の博士号を授与されている。博士論文は象徴派の詩人アルベール・サマンを主題とするものであり，この時フランスで一番年少の文学博士であった<sup>7)</sup>。

その後フランス外務省により、日本に派遣され、九州帝国大学で教鞭を執ることになる。堀口大學によれば、ボノーが日本の詩歌に興味を抱き始めたのは、着任してまもない頃のことであった<sup>8)</sup>。ある時土地の農民が歌うのを耳にして、意味は一向にわからないながらも、音律のみを聴いて、日本の歌謡とフランスの詩歌は技法においては同一の基礎を持ち、同じ感性に訴えかけるものであると気づき、比較研究に着手したものらしい。ただし、こうした発想に基づく研究は未開拓であったから、文献に頼ってばかりいるわけにはいかなかった。1926年から32年にかけて、ボノーは学生1名を助手に連れて、北海道を除く日本全国を行脚し、農民から都々逸を採集した。加えて九州全土にわたって民謡を採集し、これを学問的に分類した。これはのちに「日本民俗学の詩的表現」として発表される<sup>9)</sup>。原作のリズム、頭韻法、類音法を尊重したボノーの訳業を堀口は絶賛しており、詩人クロードルも、ボノーの研究に依拠し、『都々逸 (Dodoitsu)』(1945)を上梓した<sup>10)</sup>。

ボノーの研究キャリアを一層興味深いものになっているのは、京都帝国大学文学部で博士号を得ていることである。提出した論文「里謡と民謡」、「古今集紀貫之の序」および「日本詩歌に接近する方法について」、またその日本語研究の業績全体が評価され、1934年に帝国大学日本文学博士の称号を得ている。フランス人に対する初の授与であった<sup>11)</sup>。つまり、趣味が高じたレベルではなく、彼の研究は日本の正統なアカデミズムに組み込まれているのである。

そして彼の日本への情熱は、翻訳や研究に留まるものではない。自らが投宿した九州の旅館の女将から聴いた話に基づき、1934年にフランス語の小説『三福、或は伝統の日本 (Aux trois bonheurs, ou le Japon de la Tradition)』を発表<sup>12)</sup>。フランス主要紙各紙で多くの作家・批評家から高く評価され、ゴンクール賞に推されたという<sup>13)</sup>。

よって、彼は日本に留まることを強く望んでいた。1937年に3代目館長ルイ・マルシャンの後任の選定に際しても、自ら名乗りを上げている。ポストを得るために、駐日フランス大使シャルル・アルセヌ・アンリを訪問するなど手を尽くした。しかし大使側では、稲畑らの要請もあり、当時の学館内外の権益・派閥問題を解消するべく、京都市や大学とのしがらみのないまったく新しい人選を理想としていた。ボノーは、その知的功績の大きさは認められていたものの、学館が必要としたのはむしろフランス語教育者としての適性であった。またマルシャン派の反発など、さらなる問題が懸念されることと、ボノー夫人がロシア系であったことなどから、当時の日本の反露感情を顧慮し、再任は見送られることとなった<sup>14)</sup>。

1939年2月にフランスへ帰国した後の足取りは杳としてわからないが、著述活動は続いていた。例えば、菊池寛が序文を書いた『現代日本文学史 1868-1938 (Histoire de la littérature japonaise contemporaine 1868-1938)』(1940)、藤田嗣治の未発表のデッサンを2葉収録した小説『蜂蜜のように甘く、月は東に輝く (Douce-comme-le-miel ou la Lune brille à l'Est)』(1962)、安部公房『砂の女』の仏訳(1967)などがある。フランスの日本詩歌の受容および、日本の象徴主



図9 館長時代のポノー（前列右から四人目）

義の受容に新たな光を当てる人物であることは間違いなく、この点については稿を改めて論じたい（図9）。

【略年譜】

- |           |  |
|-----------|--|
| 1897年     | 1月15日、現ヌーヴェル＝アキテーヌ地方ヴィエンヌ県サン・シール（Saint-Cyr）に生まれる       |
| 1914年     | ラテン語・ギリシャ語・哲学のパカロレアに合格                                 |
| 1915年     | 学士号取得（哲学）  |
| 1916年1月   |  |
| ～1919年    | 従軍   |
| 1919年     | ナンシー大学で語学・古典文学の学士号取得<br>高等師範学校入学試験合格、学士奨学金取得           |
| 1925年     | ソルボンヌ大学で博士号取得（文学）                                      |
| 1926年     | 外務省に出向。日本での任務を負う                                       |
| 1926年10月  |  |
| ～1929年10月 | 九州帝国大学教授   |
| 1930年4月   |  |
| ～1932年3月  | 京都帝国大学教授   |
| 1930年     | 12月29日、関西日仏学館主事に就任                                     |
| 1932年     | 3月31日、学館主事を辞任  |
| 1932年5月   |  |
| ～1939年2月  | 東京の日仏会館研究員として研究に従事                                     |
| 1934年     | 京都帝国大学文学部に提出した博士論文が受理される<br>帝国大学日本文学博士を取得（文学博士）        |
| 1938年     | 外国人初の文芸家協会名誉会員となる<br>日本文学を外国に紹介した功労と、日仏翻訳協定成立に尽力した点を評価 |



1939年2月 神戸出帆のフェリックス・ルーセル号にて、フランスへ帰国

1972年 12月13日、パリにて死去

【主要著作など】

Georges Bonneau, *Albert Samain: poète symboliste*, Mercure de France, 1925.

Georges Bonneau, « Collection Yoshino », tome 1-10 plus deux suppléments, Libr. orientaliste P. Geuthner, 1933-35.

Georges Bonneau, *Aux trois bonheurs, ou le Japon de la Tradition*, Librairie Plan, 1934.

Georges Bonneau, *Anthologie de la poésie japonaise*, Libr. orientaliste P. Geuthner, 1935.

Georges Bonneau, *Histoire de la littérature japonaise contemporaine (1868-1938)*, Payot, 1940.

Georges Bonneau, *Douce-comme-le-miel ou la Lune brille à l'Est*, Fayard, 1962.

### 3. ルイ・マルシャン（1932年4月～1939年3月）

マルシャンは外国語教授法の分野で名を成した人物である。学習者の母語を介さない直接読解やリスニングを重視したマルシャン式教授法で知られる。そして、そのスタート地点はドイツ語教育であった。ドイツ統治下のアルザスに生まれ、幼少期を過ごしたマルシャンにとって、ドイツ語教育は切実な問題関心だっただろう。中学進学にあたりパリに出て以来、地道に勉学を重ね、1906年にドイツ語の大学教授資格を取得。1909年にはマルシャン式教授法によるドイツ語の教科書を著している。執筆と並行して、さまざまな教育機関でドイツ語を教え、戦時下では軍の通訳官を務めた。1923年から25年にかけて大阪外国語学校にフランス語・ドイツ語教師として招聘され、大阪高等学校と第三高等学校でフランス語を教えている<sup>15)</sup>。

マルシャンが館長を務めた7年間は、学館が最も旺盛に活動した、華やかな時期であった。とりわけ、吉田の新館に移転した1936年5月以降は生徒数が増え、授業プログラムも再編され、活動はより活気あるものになった。1990年代に入るまで、館長は学館に住むのが慣例であり、この引越はマルシャン夫妻にとっても心躍るものだったに違いない。しかし一方で、ひと度バルコニーへ出れば、正面にナチスの旗が翻る獨逸文化研究所を見ないわけにはいかない（図10）。アルザスで育ち、ドイツ語教育で身を立てたフランス人マルシャンが、こうして京都でドイ



図10 南から撮影した獨逸文化研究所玄関（村野藤吾の建築）。この奥に関西日仏学館があった



図 11 矢印で示されているのが九条山の  
関西日仏学館



図 12 九条山にて前期の終わりを祝うパーティー (1932  
年 6 月)。左手の着物の女性はマルシャン夫人

ツと相対時する胸中は極めて複雑なものであったろう。

九条山に建設された学館は素晴らしい眺望を誇っていたものの、通学には市内から路面電車に乗り、さらに急な坂を登っていかねばならなかった (図 11)。こうした立地は、屋外でのお茶会にはうってつけであったものの (図 12)、交通の不便を理由にボノアの時代から移転の議論が交わされていた。マルシャンの館長就任後、この話が急速に動き出したのは、学館が検討していた京都帝国大学の隣の京都高等工芸学校移転跡地を、ドイツも研究所建設のために狙っていることがわかったためだ<sup>16)</sup>。結局、文部省が用地を二分割し、北をフランスに、南をドイツに割り当てられた。両者の対立は市民の興味を引くものであり、写真付きで報道されもした (図 13)<sup>17)</sup>。

1934 年 11 月 3 日に社団法人獨逸文化研究所が開所し、さっそく講習部を開講するとともに、演奏会や展覧会などの文化事業を行った (図 14)。遅れること約 1 年半、1936 年 5 月に学館の新館がオープンする (図 15)。両者



図 13 東大路通り沿いには当時路面電車が走っていた。  
手前の建物が獨逸文化研究所。その奥に工事中の  
学館が見える



図14 ドイツ音楽使節として来日したヴィルヘルム・ケンプのピアノ演奏会（1936年5月8日）



図15 関西日仏学館新館

の熾烈な文化プロパガンダ合戦が、時に図書の寄贈という形をとって、京都府や京都帝国大学を巻き込んで展開されたことは興味深い。1938年10月にフランス政府は、日仏文化親善のために京大に文学、哲学、科学に関する学術書234冊を、京都府へは文芸書を主とした160冊を贈ったのだった<sup>18)</sup>。

こうした点と関連して、最後に当時の学館と京大仏文科の関係は決して良好なものではなかったということについて一言述べておきたい。先ほど、ボノーの館長再任に関して、マルシャン派の反発に対する懸念が挙げられていた。ここには、ボノーと仏文科主任教授太宰施門が懇意な間柄であり、マルシャンを邪険にしていたという事情が関わっている<sup>19)</sup>。戦前の学館と京大仏文科は、フランス語教育人材を共有するのが常であったが、1935年度の太宰を最後に、仏文科から学館に出講する者はいなかったし、外国語教育の第一人者であるマルシャンが仏文科で教鞭を執ることは一度もなかった<sup>20)</sup>。このような状況下で館長を任されたのが、ボノーの友人であった英文学者マルセル・ロベールなのであった。

【略年譜】

- 1876年 12月6日、アルザス地方オーブ県トロア（Troyes）に生まれる
- 1893年 パリ大学文学部および高等学院宗教学科に入学  
パリ大学文学部および高等学院宗教学科を卒業
- 1896年 官公私立中学校ドイツ語教諭資格取得、クーロミエ市立中学校生徒監となる
- 1896年11月  
～1897年10月 兵役
- 1897年11月  
～1898年1月 ムラン市立中学校生徒監となる
- 1898年4月 パリのアラゴ高等小学校ドイツ語教諭となる
- 1906年 大学教授資格試験合格（ドイツ語）
- 1915年5月  
～1919年1月 従軍
- 1920年 提要調査委員会によりアルザス・ロレーヌ地方住民用フランス語読本編纂を委嘱される
- 1921年 アラゴ高等小学校帰任
- 1922年 パリ大学文学部付属海外フランス語教員養成所「現代語教授方法」講師を委嘱される
- 1923～1925年 大阪外国語学校、フランス語・ドイツ語教師  
大阪高等学校および第三高等学校でフランス語講師を兼任
- 1924年1月 駐日フランス大使ポール・クロードの後押しで、大阪外国語学校長中目覚により文部省外国語顧問に推挙される
- 1932年 4月1日、関西日仏学館主事となる（1936年より呼称は「館長」に変更）  
マルシャン夫人も学館講師となる
- 1939年 3月31日、学館館長を退任
- 1939年4月 神戸出帆の船でフランスへ帰国
- 1948年 9月12日、現ヌーヴェル＝アキテーヌ地方ジロンド県ル・ブスカ（Le Bouscat）にて死去

【主要著作など】

- Louis Marchand, *L'Enseignement scientifique des langues vivantes, rôle du phonographe*, 1915.
- Louis Marchand, *L'Enseignement des langues vivantes par la méthode scientifique*, Larousse, 1925.
- La vie et l'œuvre de Takeshiro Kanokogui: peintre japonais / Matsutarô Tokumi*; traduction de Masakiyo Miyamoto et Louis Marchand, Institut franco-japonais du Kansai, Maison franco-japonaise et Société franco-japonaise de Kôbe, 1936.
- Louis Marchand, *Le premier livre de français, ou, La famille Dupont*, Osaka: Librairie Mishima, 1940.

#### 4. マルセル・ロベール（1939年4月～1953年8月）

英文学で教授資格を取得したロベールは、ラファディオ・ハーンの研究者也であった。1924年頃から25年にかけて浦和高等学校で教えていたが、京都帝国大学文学部仏文科主任の太宰施門の誘いを受けて、1927年から29年まで同仏文科でフランス語講読を担当している<sup>21)</sup>。当時の受講者には、河盛好蔵、生島遼一、新村猛がいた<sup>22)</sup>。学生の間では「文学のわかる人」と定評があったらしい<sup>23)</sup>。新村が卒業論文の題目をラ・フォンテーヌの『寓話集』に決めたのも、ロベールの講読を通して興味を掻き立てられたためであった<sup>24)</sup>。

ロベールはほかの4人の館長に比べると、華々しい業績を残したとは言えないかもしれない。しかし戦時下で学館の活動を継続し、また戦後は日仏会館所長を兼務しながら、東京日仏学院の創設を指揮するなど、日仏交流の守り手として極めて堅実で重要な仕事を成し遂げた。仮にマルシャンの時代を「華やか」という言葉で形容できるとすれば、ロベール時代の学館は、フランスがナチスに占領され、その属国という扱いを受け、解放後は日本の敵性国としてより厳しい状況に置かれた「苦渋」の時代であった<sup>25)</sup>。当時の学館の状況を教えるものとして、ロベールと共に学館を支えたジャン＝ピエール・オシュコルヌの回想を引きたい。1940年6月21日にフランスがナチスに降伏した後、警察の高官が学館の事務室を訪ねてきた際の出来事である。

彼は館長のマルセル・ロベール氏にむかって、単純かつ乱暴な質問をぶつけました。すなわち、学館を閉鎖するのはいつか、というのです。返答は簡単かつ明瞭でした。——学館閉鎖などはまったく問題外である。学館はひきつづき従来同様に業務を行うものであると。

いかなる逆境にもめげず、平和の小島としてとどまろう、日仏文化親善のかほそい証<sup>あかし</sup>でありつづけようというのは、賭け、それも非常識に近い賭けだったのですが、宮本〔正清〕氏はその仲間に加わりました。あまつさえ、《ブラック・リスト》に載っている著作者——ヴォルテール、モーパッサン、ジード、その他数多くの人々——の作品をひきつづき教えるという、危険な賭けだったのです<sup>26)</sup>。

ここで示されているように、戦時下の学館の運営を支えたのは、フランス人と日本人の連帯であった。宮本正清はリュエラン夫妻の通訳を務めた人物で、学館創立後も長く事業を支え続けたロマン・ロランの研究者である。そして言葉通り、学館は授業を実施するだけではなく、文化事業も継続して行なった。1941年1月末から開催されたフランス医学に関する展覧会には、延べ2500名の来場者があり、連続講演会には毎回150名から200名の聴講者が詰めかけたという（図16～19）<sup>27)</sup>。

1945年4月より、学館は島津製作所の軍需工場として接収されたため、授業は休止し、館長夫妻、学館で暮らしていたオシュコルヌ一家は九条山の旧館に避難した。終戦後1945年10月に学館は島津から返還されたが、荒れ果てた学館の立て直しに多大な時間と労力を要した。当時の文脈から興味深いのは、復旧作業を行う傍ら、進駐軍関係者のために授業を行っていた



図16 展覧会の様子。日仏会館の主導によって、パリ大学の協力を得て開催された

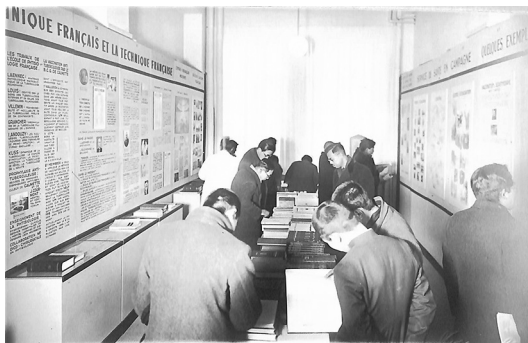


図17 書籍の展示も行われた

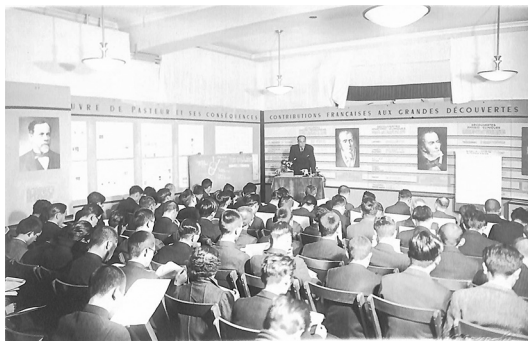


図18 展覧会の企画者ボリス・ノワイエの講演

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

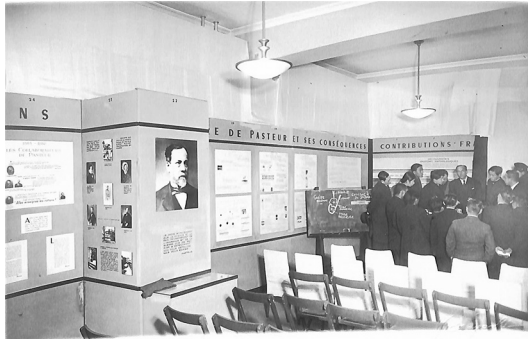


図 19 講演者の周りに集まる学生の様子から、関心の高さが窺われる

ことである。学館には暖房設備がなかったため、冬本番になると、授業はアメリカンスクールに場所を移して行われた<sup>28)</sup>。

通常の授業が再開したのは1946年1月10日のことである。登録者数は上級クラス15名、中級クラス43名、初級クラスが186名の、計244名であった<sup>29)</sup>。この数字を見れば、いかに京都の市民が再開を待ち望んでいたかがわかるだろう。相変わらず暖房設備はないままであったが、熱意と希望に燃えた彼らには、そんなことは少しも気にならなかったに違いない。

【略年譜】

1895年	1月12日、パリに生まれる ソルボンヌ大学で英文学を専攻。英語の教授資格を取得
1920～1922年	カイロ高等師範学校でフランス語を教える
1922～24年	パリのヴォルテール国立高等学校で英語を教える
1924～1926年	初来日 浦和高等学校および東京外国語学校でフランス語講師として勤務*
1927～1929年	京都帝国大学文学部フランス文学科講師として講読を担当
1929年頃	京大の職を辞し上京。語学学校アテネ・フランセ教授となる
1930～1931年	フランスに一時帰国。この間オルレアンで英語講師をする
1931年9月	再来日。アテネ・フランセ教授となる
1935年6月 ～1939年1月	東京の日仏会館研究員として研究に従事
1938年	「日仏音楽同好会 (Société franco-japonaise des Amies de la musique)」創設に協力。同会会長は徳川頼貞侯爵
1939年	4月1日、関西日仏学館館長となる
1947年	9月30日、日仏会館所長代理となる
1949年9月	日仏会館の管理下で創設される東京日仏学院の指揮を任される
1950年8月	ロバールの一時帰国に伴い、ヴァディム・エリセーエフが日仏会館および関西

	日仏学館の館長代理となることが決まる
1951年4月	再来日し任務に復帰
1952年	1月16日、東京日仏学院開校
1953年8月	学館館長を退任。フランスに帰国
1971年	10月末、パリ南郊外のアントニー（Antony）にて死去

\* 初来日、勤務開始時期については1923年から1925年の間で資料によりばらつきがある。

#### 【主要著作など】

Marcel Robert, *Jiro: roman*, Ikkiyo [東京：一匡印刷所], 1932.

Marcel Robert, *Atashi: roman*, Ikkiyo [東京：一匡印刷所], 1936.

Marcel Robert, *Lafcadio Hearn*, tome 1-2, Hokuseido Press [東京：北星堂書店], 1950-51.

#### 写真図版出典

図1～9：エリザベス・リュエラン氏個人蔵（Archives personnelles de Mme Elisabeth Ruellan）

図10：独逸文化研究所編『[社団法人独逸文化研究所]創立五週年紀要』，独逸文化研究所，一九四〇年，国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1686746>（参照 2024-03-31）

図11～13：フランス外交文書館ラ・クルヌーヴ館蔵

図14：独逸文化研究所編『独逸文化研究所一覽』，独逸文化研究所，一九三七年，国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1098045>（参照 2024-03-31）

図15～19：関西日仏学館所蔵

#### 註

- 1) 多田文男・菊地一雅，「名誉会員 Francis Ruellan 教授の逝去を悼む」，『地理学評論』49，日本地理学会，1976年，77頁。
- 2) リュエラン家所蔵資料より。
- 3) 長野県知事鈴木信太郎が外務省に宛てた報告書（昭和5年8月23日付）「要視察人関係雑纂／外国人ノ部 第二卷 3. 仏国人ノ部」  
アジア歴史資料センターのオンラインデータベースで閲覧可能：<https://www.jacar.archives.go.jp/aj/meta/listPhoto?LANG=default&BID=F2006092112006092117&ID=M2006092117095464298&REFCODE=B04013089700>（2023年11月29日閲覧）
- 4) リュエラン家所蔵資料より。
- 5) 前掲多田・菊地「名誉会員 Francis Ruellan 教授の逝去を悼む」，77-78頁。
- 6) リュエラン家所蔵資料より。
- 7) 『短歌研究』第二卷第三号，改造社，1933年3月，103頁。
- 8) 同上，104頁。
- 9) 同上，102頁。



資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

- 10) クローデル研究者学谷亮氏のご教示による。Dodoitsu, poèmes de Paul Claudel; peintures de Rihakou Harada, NRF, 1945.
- 11) 1936年1月1日付のボノーの業績をまとめた冊子「Exposé des titres», pp. 2-3. フランス外交文書館ラ・クルヌーヴ館所蔵資料（請求記号：417QO/408）
- 12) 本小説を堀口大学が日本語でリライトしたものが、『セルバン』1935年2月号, 126-133頁に掲載されている。
- 13) 堀口大学「ボノオ氏の小説（一）」『朝日新聞』（1934年12月2日朝刊）11面。
- 14) Lettre de Charles Arsène Henry au Ministre des Affaires étrangères à Paris du 20 septembre 1937, フランス外交文書館ラ・クルヌーヴ館所蔵資料（請求記号：417QO/408）
- 15) ルイ・マルシャンの履歴書の写しより。関西日仏学館所蔵。
- 16) Lettre de Lens au Ministre des Affaires étrangères à Paris du 1<sup>er</sup> février 1933, フランス外交文書館ラ・クルヌーヴ館所蔵資料（請求記号：417QO/405）
- 17) 「対立した獨佛」と題した新聞記事がフランス外交文書館に残っている。切り抜きで、1936年1月16日の大阪毎日新聞とメモがあるが、本紙上に掲載は確認できていない。図版は新聞記事のものとは異なる。
- 18) 「フランスから図書を寄贈 府と京大へ」、『大阪朝日新聞』（1938年10月26日）
- 19) Rapport de Louis Marchand à Pila et à A. Kammerer du 9 juin 1938, フランス外交文書館ラ・クルヌーヴ館所蔵資料（請求記号：417QO/407）
- 20) 拙稿「新村猛と『世界文化』——1930年代京都のフランス的文脈を踏まえて」、『人文學報』122号の小特集「戦後京都と教育・文化運動」を参照。
- 21) 太宰施門「外人教師」、『京都大学文学部五十年史』京都大学文学部, 1956年, 451頁。
- 22) 新村猛「フランス文学徒の前半生」, 今江祥智・川村孝則編『新村猛著作集』第三卷, 三一書房, 1995年, 597-599頁；山田稔「ロベールさんの小説」, 『生の傾き』編集工房ノア, 1990年, 40頁。
- 23) 同上山田「ロベールさんの小説」, 40頁。
- 24) 前掲新村「フランス文学徒の前半生」, 599頁。
- 25) この時期の学館の活動に関しては以下の論文に詳しい。ミッシェル・ワッセルマン「動乱の時代の関西日仏学館（1940～1945）」立木康介訳, 『京にフランスあり！アンスティチュ・フランセ関西の草創期』（京都大学人文科学研究所, アンスティチュ・フランセ関西, 2019年）所収。学館のHPからもダウンロードできる。  
<https://www.institutfrancais.jp/kansai/about/lhistorique/>
- 26) ジャン=ピエール・オーシュコルヌ「平和・自由・人類愛のための長きにわたる戦いのなかで」村上光彦訳, 『みすず』271, みすず書房, 1893年3月, 62頁。
- 27) Institut franco-japonais du Kansai, « Rapport annuel », mars 1941, p. 8. (関西日仏学館所蔵)
- 28) Institut franco-japonais du Kansai, « Rapport annuel sur l'activité de l'Institut franco-japonais du Kansai du 1<sup>er</sup> Avril 1945 au 31 Mars 1946 », p. 2. (関西日仏学館所蔵)
- 29) *Idem.*

## 関西日仏学館の文化事業

以下に示す三つのリストは、関西日仏学館、日仏会館、京都大学人文科学研究所、国立国会図書館デジタルコレクション、フランス外交文書館（ラ・クルヌーヴ館およびナント館）で収集した資料を用いて作成した。

日仏会館と関西日仏学館に関するリストの元になったのは、主にフランスと日本の外務省に提出する年度報告書である。現存する資料の大半がフランス語版であるため、リスト作成にあたっては、原則フランス語版を採用し、欠落を日本語版によって補った。リストに日本語とフランス語が混じるのはそのためである。独逸文化研究所に関しては、日本語版に基づいて作成した。

日仏会館については、1936年度から43年度まで（ただし、1939年7月10日～1941年4月11日の分は欠落）、関西日仏学館は1927年度から43年度まで、独逸文化研究所は1934年度から43年度までである。今後、これら三つの文化・教育機関の文化事業を比較分析することで、フランスの学術・文化的ネットワークの実態や、ドイツとフランスの文化外交戦略の有り様が具体的に浮かび上がることが期待される。

### 【凡例】

- ・日本語表記に関しては、原則として、旧字体は新字体に、歴史的仮名遣いは現代的仮名遣いに改めた。送り仮名は現行のものに改めた。
- ・固有人名については、必要に応じて氏名表記を補った。

例：M. M. Robert → M. Marcel Robert

- ・講演者らの肩書きや所属は、記載がある場合とない場合があったため、そのまま記した。
- ・Institut franco-japonais du Kansai（関西日仏学館）は、IFJKと略記し、Maison franco-japonaise（日仏会館）はMFJと略記した。
- ・それぞれのリストに所属する人間が出張をした場合、下段に「\*」を付け、場所を記した。これは、例えば日仏会館の所長が関西日仏学館で講演をしたことが、会館の資料に記載されている場合に起こるケースである。

### 【付記】

本資料紹介では、リュエラン家の資料整理に際して西村真悟氏の、略年譜と文化事業リストの作成に関して田邊尚子氏の協力を得ている。特に田邊氏には略年譜の元となる大量のデータの入力と翻訳を担当していただいた。記して両名に深く感謝したい。また学館の長谷川さと子氏には資料の提供や関係者とのコンタクトのためにお骨折りいただいた。記して感謝を捧げたい。

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

リスト 1 資料紹介 関西日仏学館（1927-44）

年	月	日	行 事	講演者・演奏家など
1927	11	5	Conférence: L'œuvre de Marcelin Berthelot	M. Nakaseko, Prof. de chimie à l'Université de Kyoto
	11	13	Conférence: L'Art Belge (avec projections)	M. Le Vicomte Joseph Berryer, Secrétaire de l'Ambassade de Belgique
	1	15	Conférence: La philosophie contemporaine des sciences en France	M. le Prof. René Berthelot
	3	11	Conférence: Paris depuis deux mille ans (avec projections)	M. Noël Nouët, Prof. au Lycée supérieur de Shizuoka
	5	6	Conférence: L'illustration du livre depuis le XVI <sup>e</sup> siècle	M. Robert de Billy, Ambassadeur de France
	1928	10	10	Réception donnée par M. et Mme Ruellan aux Membres de l'Équipe Athlétique française conduits par M. le Dr. Minelle
10		21	Conférence: Quelques sources nouvelles du droit international; les actes de la Société des Nations, le Pacte de Paris	M. Jean Ray, Jursiconsulte du Ministère des Affaires Étrangères du Japon
1929	4	20	Audition de poésies françaises classiques et modernes * Station Kyoto-Osaka	M. et Mme Ruellan
	4	24	Concert: Piano et Chant	M. Paul Kowalow et ses élèves, Mme Melchior M. Ichiyama et M. Handachecorne
	5	26	Conférence: Les jardins de France (avec projections lumineuses)	M. L. Blaringham
	11	3	Conférence: Une artiste peintre française dans les Monastères du Tibet (avec projections)	Mlle Lafugie
	3	2	Conférence: Caractères généraux de la philosophie française	M. Chuzo Kuki, Prof. de Philosophie à l'Université de Kyoto
			Printemps Une série de conférences de mathématiques * Université impériale de Kyoto	M. Roger Piedvauche, Agrégé de Mathématiques, Pensionnaire de la MFJ
1930			Conférences: La géographie régionale de l'Indochine française. Le but et les méthodes de la géographie régionale * MFJ	M. Francis Ruellan, Directeur de l'IFJK
	5	1	Conférence * Faculté de Médecine de l'Université d'Osaka	M. Georges Dumas, Prof. à la Sorbonne, Membre de l'Académie de Médecine de Paris
	6	1	Conférence: L'Expression de la souffrance (illustrée de projections lumineuses)	M. Georges Dumas, Prof. à la Sorbonne, Membre de l'Académie de Médecine de Paris
	6	1	Inauguration de la "Société médicale franco-japonaise du Kansai" qui réuni des savants des quatre facultés de médecine du Kansai	sous la Présidence de M. Jean Dobler, Chargé d'Affaires de France et de M. Georges Dumas
	6	4	Conférence: L'expression des sentiments * Université impériale de Kyoto	M. Georges Dumas, Prof. à la Sorbonne, Membre de l'Académie de Médecine de Paris
	6	5	Conférence: L'expression des sentiments * Université impériale de Kyoto	M. Georges Dumas, Prof. à la Sorbonne, Membre de l'Académie de Médecine de Paris
1931	6	14	Conférence: Les costumes des femmes françaises à Paris et en Province (avec projections)	M. Francis Ruellan, Directeur de l'IFJK
	6	23	Inauguration de l' "Association amicale des Étudiants et Anciens Étudiants de l'IFJK"	sous la Présidence de M. Francis Ruellan
	10	9	Conférence: La théorie du salaire	M. François Simiand, Prof. à l'École des Hautes Études et au Conservatoire des Arts et Métiers
	11	11	Banquet d'adieu en l'honneur de Monsieur et de Madame Ruellan * Club de musique de Kyoto	
	11	12	Conférence: L'organisation de l'enseignement musical en France * Club de musique de Kyoto	M. Francis Ruellan, Directeur de l'IFJK
	12	7	Conférence: Un grand savant français contemporain: M. Georges Claude	M. Henri Melchior
1932	12	7	Banquet en l'honneur de M. l'Ambassadeur de France et Madame La comtesse de Marrel et à l'occasion du départ de M. et de Mme Ruellan	
	5	29	Petites fêtes et distractions offertes aux élèves	
1932	6	3	Conférence: Le rôle social de la chirurgie esthétique (avec projections)	Dr. A. Noël
	6	15	Conférence: Impression de voyage en Afghanistan, dans l'Inde, et dans l'Asie Centrale (avec projections et films)	M. Joseph Hackin, Directeur de la MFJ
	6	26	Petites fêtes et distractions offertes aux élèves	
	10	1	Remise de la Légion d'Honneur à Kanokogi, artiste peintre japonais, élève de J. P. Laurens	
	10	8	Conférence: La France contemporaine	M. Pierre Lyzautey

	10	17	Conférence: Quelques étapes de l'évolution musicale (voix et instruments) (avec audition de disques (1 <sup>er</sup> partie))	M. Hauchecorne, consul de France à Kobé
	11	4	Thé offert aux Artistes peintres japonais qui suivent les traditions de l'Ecole française	
1932	11	6	Excursion aux "Etables de Takao" * T akao	
	11	27	Conférence: Le Monde de Balzac	M. Dazai, Dr. ès lettres, Prof. à l'Université Impériale de Kyoto
	12	3	Conférence: Les deux aspects de la philosophie européenne	M. Laurman, Prof. à l'Ecole de langues vivantes d'Osaka
	12	11	Conférence: La France, vue par un Juriste japonais	M. Morgucchi, Prof. à l'Université Impériale de Kyoto
	12	13	Conférence: Les tendances nouvelles de l'architecture française (avec projections)	M. Carl, Architecte diplômé du Gouvernement français, Pensionnaire de la MFJ
	2	29	Conférence: La géographie botanique (2) (avec projections)	Dr. Jean Morle, Dr. en médecine, Dr. ès sciences, Pensionnaire de la MFJ
	2	4	Conférence: La géographie botanique (1) (avec projections)	Dr. Jean Morle, Dr. en médecine, Dr. ès sciences, Pensionnaire de la MFJ
	2	12	Conférence: Les influences hellénistiques dans l'art bouddhique du Nord-Ouest de l'Inde	M. J. Hackin, Directeur de la MFJ, Directeur du Musée Guimet à Paris
	2	26	Conférence: De l'évolution comparée du droit de la responsabilité au Japon et en France	M. J. Chabas, Dr. en Droit, Pensionnaire de la MFJ
	3	4	Conférence: Quelques étapes de l'évolution musicale, 2 <sup>e</sup> Partie: les instruments et l'orchestre (avec audition de disques)	M. A. Hauchecorne, Consul de France à Kobé
	3	13	Réunion d'adeu des étudiants, petite fête suivie d'un thé	
	5	13	Conférence: Organisation de la lutte anti-tuberculeuse en France (1) (avec film)	Dr. Jean Morle, Dr. en médecine, Dr. ès sciences, Pensionnaire de la MFJ
	5	15	Thé offert aux Artistes peintres japonais qui suivent les traditions de l'Ecole française	
1933	5	21	Conférence: Organisation de la lutte anti-tuberculeuse en France (2) (avec film)	Dr. Jean Morle, Dr. en médecine, Dr. ès sciences, Pensionnaire de la MFJ
	5	21	Concert, Yernissage, Cinéma, Représentation: "Mom Ismié"	Concert: l'Orchestre du Vaisseau-Amital "Primaugnet" Représentation: La troupe de Marris du "Primaugnet"
	6	3	Conférence: De l'influence de la philosophie contemporaine sur l'évolution du Droit social	M. J. Chabas, Dr. en Droit, Pensionnaire de la MFJ
	6	18	Conférence: Paul Claudel, poète de l'Orient	M. Louis Marchand, Directeur de l'IFJK
	6	18	Conférence: Un globe trotter en Chine (avec projections)	M. Bouvier
	6	18	Fête des Etudiants: Concert	
	10	7	Conférence: La Concurrence déloyale	M. Jean Chabas
	10	14	Conférence: Impression d'une étudiante française aux Etats-Unis	Mlle Marcelle Henry, Boursière d'échange en Amérique
	1	27	Conférence: Origine et procédé de formation des caractères chinois	M. Hauchecorne, consul de France à Kobé
	2	10	Conférence: L'autorité familiale en droit comparé français et japonais	M. Jean Chabas
	3	3	Conférence: L'Inséuit du cancer de Ville juff (avec projections)	Dr. Jean Morle, Dr. en médecine, Dr. ès sciences, Pensionnaire de la MFJ
	5	5	Conférence: La station thermale de Vichy (avec films cinématographiques)	Dr. Jean Morle, Dr. en médecine, Dr. ès sciences, Pensionnaire de la MFJ
1934	5	6	Excursion à Nara (60 membres) * Nara	(organisée par l'association des anciens élèves)
	6	2	Conférence: La situation de la femme mariée dans le droit civil français	M. Jullion de la Morandière, Prof. à la Faculté de droit de Paris, Directeur de la MFJ
	6	9	Conférence: Le mariage en Droit comparé français et japonais	M. Jean Chabas, Dr. en droit, Pensionnaire de la MFJ
	2	10	Concert public et gratuit	Mlle Chieko Hara, Pianiste, premier Prix du Conservatoire de Paris
	3	9	Conférence: La phonétique et la phonologie à la lumière des nouvelles tendances de la linguistique	M. Orstele Fleiner, Prof. à l'Ecole de langues vivantes du Tenri et à l'IFJK
	5	11	Conférence: Caractéristiques de la musique française (avec audition de disques)	M. Armand Hauchecorne, Consul de France à Kobe
	5	18	Conférence: Au cœur de l'Afrique	Capitaine Emmanuel Fleurent
	5	19	Grande excursion aux rapides de Hozu * Hozu	
1935	6	1	Conférence: Les conflits du travail en France	M. Jullion de la Morandière, Directeur de la MFJ
	6	8	Conférence: Les guildes et corporations en Chine (avec projections)	M. Armand Hauchecorne, Consul de France à Kobe
	6	19	Cinquantiénaire de la mort de Victor Hugo. Concert et conférence	M. Paul Iseler, Agrégé de l'Université (1. Conférence sur Victor Hugo); M. Miyamoto, 1 <sup>er</sup> Secrétaire-professeur de l'IFJK (2. Victor Hugo au Japon); M. et Mme Marchand et Mlle Kato, étudiante à l'IFJK (4. Lecture de poème de Victor Hugo); (chantées par) Mme Marchand (5. Mélodies sur des poèmes de Victor Hugo)

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

					Conférence: Dr. Jean Motte, Chargé de Cours à l'Université de Montpellier, pensionnaire de la MFJ (avec M. et Mme Morandière et avec la collaboration de M. Berger Vachon, de Mme N. de Leuchtenberg-Beutharnais, de M. M. Lorant et Janowsky)
1935	6	22	Fête du diplôme - Distribution des diplômes. Conférence: La Station de biologie de Sète (avec projections), Théâtre, Cinéma, Concert		
	8	13	Concert de musique française * Karuzawa		
	11	30	Grand concert public, en l'honneur du Centenaire de St-Sièns		
	12	7	Conférence: Quelques curiosités musicales (avec audition de disques)		
	1	21	Conférence: Une randonnée au Sahara (avec projections)		
	2	8	Conférence: Présentation de quelques documentaires sur l'Indochine		
	3	28	Conférence: L'activité générale des Instituts Pasteur et la lutte contre le paludisme en Indochine (avec projection de films)		
	4	2	Conférence: Géométrie analogique * Faculté des sciences de l'Université de Kyoto		
	6	27	Conférence: Lull et l'opéra français au 17 <sup>e</sup> siècle (avec audition de disques)		
1936	9	30	Exposition des tableaux de M. Kanokogu, Directeur de la Section des Beaux-Arts de l'Institut		
	10	19	Conférence: Romain Rolland et la Musique		
	10	31	Conférence: Romain Rolland et la Musique		
	11	11	Fête à l'Institut: Concert de Musique française, Exposition de livres français, Cinéma, Théâtre		
	11	11	Exposition du Livre français		
	11	28	Conférence: L'opéra français au XVIII <sup>e</sup> siècle, Rameau et Gluck (avec audition de disques)		
	12	3	Exposition des tableaux de M. Fujita, artiste peintre, ancien élève de l'Institut		
	12	6	Exposition des tableaux de M. Vauquelin, Prof. de français à l'Université de Fukuoka		
	12	20	Concert: Une douzaine de pièces de compositeurs français et japonais		
	1	30	Conférence: Georges Duhamel ou règne du cœur		
	2	13	Conférence: I. César Franck et ses disciples: Duparc, Chausson, II. Gabriel Fauré		
	2	25	Exposition des estampes		
	2	27	Conférence: Le Tokyo d'aujourd'hui et le Tokyo d'autrefois à travers les estampes des grands maîtres japonais (avec projections)		
	3	2	Exposition des tableaux		
	3	6	Conférence: I. Claude Debussy II. Maurice Ravel		
	4	4	Concert: Société musicale de Kyoto, (en l'honneur de Madame Otta partant pour la France)		
	4	7	Réception à l'occasion de la visite de M. Lucien Romier, directeur du "Figaro"		
	4	24	ハーブ演奏会		
1937	5	1	Conférence: La préservation contre la tuberculose par la vaccination anti-tuberculeuse B. C. G. (avec projection d'un film parlant de l'Institut Pasteur de Paris)		
	5	16	Conférence: Le rôle de l'Université de Paris dans le Procès de Jeanne d'Arc		
	5	20	Excursion traditionnelle à Gomai (sic), célèbre par ses azalées		
	5	20	Concert		
	5	22	Conférence: Le fonctionnement d'un hôpital à Paris (avec projections)		
	6		Exposition: Travaux du cours pratique d'enseignement féminin		
	6	24	Fête de la fin du trimestre: Concert de disques, séance de cinéma et de prestidigitation		
	6	26	音楽講演会: 十六世紀より二十世紀に至る欧州の舞踏音楽		
	9	26	Concert		
	10	10	Concert		
	10	30	音楽講演会: ノバリにおけるショパンの音楽生活		
	10	31	Concert		

					M. Léon Mazeaud, Directeur français à la MFJ
					(日仏音楽協会主催/学館音楽部副連行事)
					(日仏音楽協会、関西日仏学館、京大音楽部主催/学館音楽部副連行事)
1937	11	6	Conférence: Les pactes de sang		Prof. à l'IFJK
	11	11	Fête du 10 <sup>e</sup> anniversaire de la fondation de l'Institut: Projection du film parlant "Anne-Marie"		M. Ohashi, Penitire japonais ayant étudié à Paris
	11	13	音楽講演会: ドビュッソンに見られる異国的影響		R. P. Henri Bernard, de l'Institut des Hautes Etudes de Tientsin
	11	23	音楽講演会: 象徴主義時代に於ける音楽生活		M. Claude Farrière, de l'Académie française
	12	4	Conférence: L'Art préhistorique en France (avec projections)		M. Marcel Robert, Agrégé de l'Université, Pensionnaire de la MFJ
	2		Exposition: Tableaux		M. Noël Nouët, Prof. à l'Ecole des Langues étrangères de Tokyo
	2	5	Conférence: Les premiers contacts du Japon avec la civilisation occidentale		日仏音楽協会主催 (学館音楽部副連行事)
	2	13	Conférence: Pourquoi j'aime le Japon.		Chansons: Mlle Annie Marchand (3 ans)
	2	19	Conférence: Paul Valéry, poète de l'esprit		Elevés de Madame Takéuchi, Prof. de chant
	2	26	Conférence: L'exhumation de Napoléon 1 <sup>er</sup> en 1840 d'après les notes du chirurgien chargé de l'identification du corps de l'Empereur par un descendant de ce chirurgien (avec projections)		M. le Prof. Nishizaka
	3	5	日仏音楽の夕		(関西大学校友会開催)
	3	12	Réunion des étudiants à l'occasion de la remise des diplômes: Chansons, projection du film parlant "2 Bureaux"		ニューナム氏
	3	19	Concert		音楽文化クラブ
	3	23	Exposition: Fleurs		音楽文化クラブ
	4	7	「ボスター展」に学館からも出品 ・大阪		(学友会主催)
	4	20	展覧会: 日本短期展 (4月20日~27日)		東京外国語学校教授 ノエル・ヌエット
	4	22	音楽会		東京井口教授
	4	24	音楽会		音楽文化クラブ
	5	22	宇治方面遠足 ・宇治		藤子木孟郎氏
	6	4	講演会: 巴里の起源より今日に至る歴史		(日仏音楽協会協力)
	6	11	音楽会		江藤輝氏、竹内福子夫人、吉村夫人、大城戸嬢、太田照義二氏 (東京)、田中氏
	6	12	音楽会		関西日仏学館館長 ルオ・マルシャン
1938	6	18	展覧会: 支那学生展 (6月18日~27日)		瀬久夫氏
	6	18	日仏音楽会: ビアノ、ヴァイオリン、歌謡、フォール、ショーンソ、クーブラン、ドビュッソン、ラヴェル等の作曲		水野康孝氏、藤堂彌一郎氏、加藤千恵子夫人、上村圭子夫人
	6	23	講演会: 中世紀より現代に至るフランス楽器 (アントロロジ・ソノール会社制作) レコード使用		別にフランソワ・フランクール、ラモネ、ドビュッシーの作品ヴァイオリンにて演奏
	6	23	催し物: 宇治方面遠足の実写活動写真を映写		ピアノ教授加藤夫人並びにその門下生
	6	25	講演会: グノーのフアウストについて		飯田夫人 (バリオバロコミック屋においてお葬夫人を歌って大成功を傳せる人)、マルシヤン夫人、ビアノ伴奏: 大久保、ローゼンスタント両氏
	6	25	音楽会: 大阪西重唱団によるグノー作フオースト (ママ) 第二幕		和岡誠三郎氏
	6	26	音楽会		指揮: 長井齊氏、独唱: マルシヤン夫人
	8	30	音楽会: 日仏混声合唱団によるフランス民謡、独唱		日本舞踊: 藤間氏門下生
	10	16	講演会: ホリフォニーの音楽		東京井口教授
	10	16	音楽会: 大阪フーラル・ウサエティによるフランス管絃音楽ジョスカン ドブレ、ローラン ドラシユス、サン＝サーンス、グノー、セザール・フランク等の作品		ピアノ教授吉田夫人並びにその門下生
	11	11	催し物: 日本舞踊、映画鑑賞 園いの前夜		藤間氏門下生
	11	12	音楽会		東京外国語学校教授 ノエル・ヌエット
	11	13	音楽会		藤間氏門下生
	11	19	講演会: フルターニエの今昔、英傑、風流、(幻燈使用)		東京外国語学校教授 ノエル・ヌエット
	11	20	音楽会: 日本舞踊会		藤間氏門下生
	11	22	音楽会		龍谷人学生合唱団 [ママ]
	12	1	展覧会: 版画および素描展 (12月1日~7日)		アラウソ
	12	3	音楽会		村岡夫人門下生

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

				ストラヴィン・フ라우ン夫人	
				関西日仏学館館長 ルイ・マルシャン	
1938	12	11	講演会：言語の心理学的原理及び国民心理	アレジエ・東京アナホ・フランチ教授 ポール・イヌレール	
	12	17	講演会：ピエール・ルイスと芸術の為の芸術	関西日仏学館教授 ジャン・ピエール・オージュコルヌ	
	1	18	講演会：音楽会：十六世紀より十八世紀に至るフランス音楽の発展（レコード使用）	前駐日仏学館大使 佐藤尚武	
	1	21	講演会：フランスの印象		
	1	21	展覧会：フランス図書館展覧会		
	1	28	音楽会：ピアノ三重奏、セザール・フランク交響曲第4番及びショパン、コンチェルト	武澤紀氏、島田猛氏、長谷川、竹内、船岡の諸嬢	
	1	29	音楽会：久彌喜春仁子女王陛下御台艦 大里夫人ピアノ門下生		
	2		展覧会：学館美術部学生作品展		
	2	11	音楽会：フランス民謡音楽	クレーン氏指揮関西日仏学館合唱団 (マルシャン夫妻、ブルトネル援助出演、ルオー・グーラン、ピニユー伴奏によるブルトン歌曲 神戸在住ボリス・リース・チュワツカ舞踊団、シヨハン夜曲、及びドビュッシー雨降れる庭)	
	2	18	映画の会「パン＝ミシェル山」「ル・エリカ」/「アルターニエ」歌謡およびピニユー吹奏	歌謡および吹奏：ルオー・グーラン氏 (日仏音楽協会並びに船岡夫人を会長とする京都音楽協会主催) (大阪及び京都各合唱団並びに関西優秀音楽家（出演者数75名）協力)	
	2	25	関西日仏学館館長マルシャン夫妻送別大音楽会	M. Maurice Prunier, Prof. à la Faculté de Commerce de Tokyo	
	4	22	Conférence: Marcel Proust	Dr. Boris Noyer, Pensionnaire à la MFJ	
	5	20	Conférence: Le Néo-hippocratism	M. Taku	
	5	23	Récital de Piano: Franck, Chabrier, Debussy, Taku, etc.	(avec le concours de Mme T. Kato, Mlle Nakassko et M. S. Date)	
1939	6	6	Concert: Lully, Gluck, Saint-Saëns, Fauré etc.	M. Léon Mazeaud, Directeur à la MFJ	
	6	8	Conférence: La Femme mariée: libre et capable	M. Florent Guillain, Pensionnaire à la MFJ	
	10	28	Conférence: L'Architecture militaire jusqu'à nos jours	M. Conrad Meli, Peintre	
	11	11	Conférence: La peinture française	Mme Kiku Yamara, Ecrivain	
	11	12	Conférence: Les écrivains que j'ai connus en France	M. Nabeji (Concert patronné par la Société Musicale de Kyoto)	
	11	12	Récital de Piano: Chopin	M. Marcel Robert, Directeur de l'IFJK	
	11	16	Conférence: La France que j'ai vue en Août 1939	M. Jean-Pierre Hauchecorne, Prof. à l'IFJK	
	11	28	Conférence: Un maître de la grâce française au XVIIIe siècle: François Couperin	Mme Jean Ortoili	
	12	14	Conférence: Recent impressions from England to Japan		
	12	16	Conférence: Les grands Courants de la littérature moderne française		
	12	21	Conférence: Jean Racine	M. Paul Isidre, Prof. à l'Alhambra Française	
	2	6	Conférence: Erik Satie, le "Père" des Six	M. Simon Daza, Prof. à l'Université Impériale de Kyoto, M. Takehiko Ibuki, Prof. au Troisième Lycée supérieur, Chargé de Cours à l'Université Impériale	
	2	8	Conférence: La Femme française	(Ces conférences, données à l'occasion du tricentenaire de Racine, ont été suivies d'une représentation du Premier Acte des Plaideurs, trauction de M. Yoshimura.)	
	2	24	Conférence: Les mots, leurs confidences et leurs métamorphoses	M. Marcel Robert, Directeur de l'IFJK	
	3	9	Réunion musicale et littéraire: Récitation de poèmes, comédie, piano	Tsunao Miyajima, Ancien Administrateur de l'Université du Kansai	
	5	2	Récital de piano: César Franck, Debussy, de Falla, Mme Charles Arsène-Henry	M. Oreste Pletner, Agrégé de l'ancienne Université Impériale de Péetrograd, Prof. au Troisième Lycée Supérieur et à l'École de Teint	
	5	7	Conférence: Notes sur le Théâtre français contemporain	(Réunion patronnée par l'Association des Anciens Elèves de l'Institut)	
1940	5	16	Conférence: Napoléon et la Corse (avec projections)	法學博士 Mme Pierre Veujoz (Cette conférence a été suivie d'une représentation de "L'Indigent", de Charles Wildrac, traduction de M. Tatsuno, donnée avec le concours de Mme J.P. Hauchecorne, Mlle Kato, M. Hayashi et M. Yoshimura)	
	5	21	Concert de Musique de Chambre: Leclair, Rameau, Saint-Saëns, Ravel	関西日仏学館教授 M. Jean Ortoili	
	6	6	Conférence: Les Syndicats Agricoles en France et au Japon	(avec le concours de Mmes Yoshimura, Yamada, Hasegawa, Okawa et de MM. Tanaka, Yamada et Nakamura)	
	7	31	Conférence: Jules Romains	M. Hasegawa Tanahashi, Prof. à la faculté d'Agriculture de l'Université Impériale de Kyoto 京都帝国大学農学部教授 棚橋初太郎	
	10	22	Conférence: Profils de Musicistes contemporains: Poulenc, Milhaud, Honegger (avec audition de disques)	M. Marcel Robert	
	11	17	Concert de Musique Sacrée: Palerstrina, de Lassus, Requiem de Gabriel Fauré	(avec le concours de la Société Chorale d'Osaka)	

1940	11	30	Récital de piano: Daquin, Rameau, Chopin, Debussy	Mlle Toshiko Katsumata (Cette Exposition, due à l'initiative à la MFJ, préparé par l'Université de Paris avec collaboration du Dr. Boris Noyer, était présenté à l'insu des auspices de la Préfecture, de la Mairie, de l'Université Impériale de Kyoto et de l'Ambassade de France à Tokyo, et avec le généreux concours de la Maison Inabata d'Osaka, de la Teikoku Sanso, du Comité Français de Kobe, de la Société Franco-Japonaise de Kobe et de l'Association des Anciens Elèves de l'IFJK)
	1	25	Exposition Médical Française: Quelques aspects des contributions française aux progrès de la médecine	
	1	28	Conférence: Pierre Janet	Dr. Imamura, Ancien Doyen de la Faculté de Médecine de l'Université Impériale de Kyoto
	1	28	Conférence: La médecine au Collège de France	Dr. Boris Noyer
	1	29	Conférence: La Thérapeutique de la Tuberculose en France	Dr. Shimodara, Diplômé de la Faculté de Médecine de Lille
	1	30	Conférence: L'influence de la Médecine Française au Japon	Dr. Izuka, Prof. à la Faculté de Médecine de Kyoto
	1	31	Conférence: La Microchirurgie (avec présentation d'appareils)	Dr. Boris Noyer
	2	1	Conférence: Sur les niveaux d'oxydation des milieux cellulaires	Dr. Hideo Kubo, Prof. à la Faculté de Médecine de l'Université Impériale d'Osaka
1941	2	18	Conférence: Quelques Maîtres de la Musique Française: Moderne: Lalo et Chabrier (avec audition de disques)	M. Marcel Robert
	3	11	Conférence: Un problème culturel en Indochine	M. Nguyen Tien Lang, Membre de la Mission Economique Indochinoise, écrivain annamite
	5	15	Conférence: Quelques maîtres de la musique française moderne: Bizet et Charpentier (avec audition de disques)	M. Marcel Robert
	6	3	Soirée théâtrale: 1- Le Fils, pièce en un acte de Kaoru Osanai 2- Poi de Carotte, pièce en un acte de Jules Renard, traduction japonaise de Tamaki Yamada	
	6	17	Conférence: Angkor-Vat (avec projections)	M. Victor Goloubew
	10	28	Récital de piano: Debussy, Poulenc, Ibert, Villa Lobos, Ravel, Albeniz, Chopin	Mlle Atrala Soares
	11	4	Conférence: Stéphane Mallarmé	M. Marcel Robert
	11	25	Quelques maîtres de la musique française moderne: Gabriel Fauré (avec audition de disques)	M. Marcel Robert
	4	7	Conférence: Guillaume Apollinaire	M. Marcel Robert
	4	9	Récital de piano: Daquin, Rameau, Franck, Debussy, Ravel	Mme Charles Arsène-Henry
	5	19	Conférence: Quelques maîtres de la musique française moderne: César Franck (avec audition de disques)	M. Marcel Robert
	6	16	Conférence: La Princesse de Clèves	M. Takeo Kuwabara
	10	31	Conférence: Réalité et fiction dans l'œuvre de Marcel Proust	M. Keichi Morita
1942	10	31	Conférence: Notes sur la Culture Française	M. Maurice Prunier
	10	31	Conférence: Quelques sinologues français	M. Yorozu Oda
	11	12	Récital de piano: Chopin, Debussy, Fauré, Ravel	Mlle Kazuko Kusama
	11	22	Récital de chant: Duparc, Fauré, Debussy	Mlle Chizuko Asano, avec le concours de Mme Misao Ishimoto
	11	28	Conférence: Ce que le Moyen-Age a légué aux Temps Modernes	M. Saburô Kajikawa
	11	28	Conférence: La langue française	M. Hisayuki Omotaka
	2	9	Conférence: Trois disciples de César Franck: Ernest Chausson, Henri Duparc, Vincent d'Indy (avec audition de disques)	M. Marcel Robert
	3	2	Conférence: Georges Duhamel et le règne du cœur	M. Jean-Pierre Hauchecorne
	4	10	Récital de piano: Dandrieu, Debussy, Ravel, Poulenc, Honneger, Laparra, Ibert	Mme Charles Arsène-Henry
	5	6	Récital de violoncelle: d'Herveldts, Debussy, Fauré, Ravel	M. Takashi Kurata
1943	5	24	Conférence: Le Docteur Alexandre Yersin	Dr. Henri Gaillard, Doyen de la Faculté de Médecine Hanot
	6	1	Conférence: Les clavecinistes français (avec illustrations musicales par Mme Helena Pereira Ohashi pianiste)	M. Jean-Pierre Hauchecorne
	10	19	Conférence: Le pseudonyme littéraire en France et au Japon	M. Marcel Requien,
	11	11	Conférence: L'art indochinois	M. Sotji Umebara, Prof. à l'Université Impériale de Kyoto
1944	1	25	Récital de piano: Chopin, Franck, Fauré, Debussy, Ravel	Mme Chieho Hara
	2	10	Conférence: Un musicien-philosophe: Paul Dukas (avec audition de disques)	M. Marcel Robert



資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

リスト2 資料紹介 日仏会館（1936-43）

年	月	日	行事	講演者・演義者など
	4	16	Conférence La littérature Chrétienne au Japon il y a trois cents ans	M. Pierre Humbertclaude, Prof. à l'Ecole de l'Ecole du Matin, Chargé de cours à la Faculté des lettres de l'Université impériale de Tokyo
	4	20	Conférence Pasteur et la médecine contemporaine • Club des Nobles	M. Pasteur Valéry-Radot, Prof. agrégé à la Faculté de médecine de Paris, Secrétaire général de l'Institut Pasteur de Paris
	4	21	Conférence Quelques Maîtres de la musique française moderne, III: Claude Debussy • Club des Nobles	M. Marcel Robert, Agrégé de l'Université
	4	28	Conférence La Phonétique japonaise au point de vue phonologique et son application à l'orthographe normale de la langue	M. Akitsu Tanakadate, Membre de l'Académie impériale, Prof. émérite de l'Université impériale de Tokyo
	5	5	Conférence Les expériences et les plans d'économie dirigée en France et à l'étranger, I.	M. Victor Berger-Yachon, Prof. à la Faculté de droit d'Alger
	5	7	Conférence La protection juridique du fonds de commerce en droit français • Fédération économique du Japon	M. Juliot de la Morandière, Prof. à la Faculté de droit de Paris, Directeur français à la MFJ
	5	12	Conférence Marcel Proust. Sa conception de l'art littéraire - Sa vision du monde	M. Maurice Premier, Chargé de cours à la Faculté de commerce de Tokyo et à l'Université Kéio
	5	14	Conférence Le mouvement contemporain de la législation en matière de Sociétés par actions, principalement, au point de vue du droit français • Club des Banquiers	M. Juliot de la Morandière
	5	19	Conférence Quelques Maîtres de la musique française moderne, IV: Albert Roussel et Maurice Ravel • Club des Nobles	M. Marcel Robert
1936	5	20	Conférence La conception française d'économir [sic] dirigée • Société de Genève	M. Victor Berger-Yachon
	5	25	Conférence Tokyo vue par l'estampe (avec projections)	M. Noël Nouët, Membre de la Société des Gens de Lettres de France, Chargé de cours à l'Ecole des langues étrangères de Tokyo
	6	3	Conférence Les expériences et les plans d'économie dirigée en France et à l'étranger, II	M. Victor Berger-Yachon
	6	12	Conférence L'Opéra français aux XVII <sup>e</sup> et XVIII <sup>e</sup> siècles (avec audition de disques)	M. Armand Hauchecorne, Consul de France à Kobe
	10	20	Conférence La crise pneumonique, ses caractères généraux et biologiques	M. Georges Patey, Dr. en médecine, Chef de Clinique à la Faculté de médecine de Paris
	10	27	Conférence Romain Rolland et la musique	M. Marcel Robert
	10	31	Conférence Romain Rolland et la musique • FJK (日仏会館資料に日仏会館で開催と記載)	M. Marcel Robert
	11	4	Conférence L'Art, les artistes, leurs juges et quelques malentendus	M. Gaston Hauchecorne, Ancien Consul de France en Chine
	11	10	Conférence La communication interventriculaire (avec projections)	Dr. Georges Patey
	11	17	Conférence Jules Romains et l'humanisme, I.	M. Marcel Robert
	11	24	Conférence Le rôle des parents dans le développement psychique de l'enfant	Dr. Georges Patey
	12	1	Conférence Jules Romains et l'humanisme, II	M. Marcel Robert
	12	8	Conférence La névralgie faciale, symptômes et traitement (avec projections)	Dr. Georges Patey
	12	15	Conférence Le rôle de l'Université de Paris dans le Procès de Jeanne D'Arc • Université l'Aurore à Shanghai	M. Léon Mazeaud, Prof. à la Faculté de droit de Grenoble, Directeur français à la MFJ
	1	11	Conférence Les données actuelles sur la diphtérie maligne	Dr. Georges Patey
	1	12	Conférence La granulie: les problèmes diagnostiques et pathogéniques qu'elle pose • Université l'Aurore à Shanghai	Dr. Georges Patey
	1	12	Conférence Les caractères de la médecine moderne • Alliance française à Shanghai	Dr. Georges Patey
1937	1	13	Conférence L'ictère hémolytique • Université l'Aurore à Shanghai	Dr. Georges Patey
	1	19	Conférence Quelques Maîtres de la musique française moderne, 2 <sup>ème</sup> série: Lalo et Chabrier (avec audition de disques)	M. Marcel Robert
	1	26	Conférence Le rhumatisme tuberculeux (avec projections)	Dr. Georges Patey
	2	9	Conférence La méthode du droit commercial	M. Kotaro Tanaka, Prof. à la Faculté de droit de l'Université impériale de Tokyo

2	13	Conférence: Quelques Maîtres de la musique française moderne: César Franck et Gabriel Fauré (avec audition de disques) • IFJK	M. Marcel Robert
2	15	Conférence: La formation médicale française. • Faculté de médecine de l'Université impériale de Tokyo	Dr. Georges Patey
2	16	Conférence: L'Histoire de la cartographie du monde oriental (avec projections) • Club des Nobles	M. Albert Kammerer, Ambassadeur de France au Japon
2	23	Conférence: Quelques Maîtres de la musique française moderne. 2 <sup>ème</sup> série: Bizet et Charpenier	M. Marcel Robert
3	2	Conférence: La Néphrose lipidique (avec projections)	Dr. Georges Patey
3	6	Conférence: Quelques Maîtres de la musique française moderne: Debussy et Ravel (avec projections) • IFJK	M. Marcel Robert
3	11	Conférence: La fiente et le péché • Association d'Etudes catholiques (Délégation apostolique)	M. Léon Mazeaud
4	20	Conférence: Le Problème de l'Âme japonaise. I. Âme japonaise et littérature française	M. Georges Bonneau, Dr. ès lettres, Dr. ès lettres japonais de l'Université impériale, Pensionnaire à la MFJ
4	27	Récital de Piano avec conférence: La musique de danse en Europe de XVI <sup>e</sup> au XX <sup>e</sup> siècles. I (D'Antoine Francisque et Lully à Rossini et Chopin) • Club des Nobles	M. Henri Gil-Marcheix
5	4	Conférence: L'Agranulocytose (avec projections)	Dr. Georges Patey, Dr. en médecine, Chef de Clinique à la Faculté de médecine de Paris, Pensionnaire à la MFJ
5	5	Conférence: Le groupe, responsable et victime. I. • Faculté de droit de l'Université impériale de Tokyo	M. Léon Mazeaud, Prof. à la Faculté de droit de Grenoble, Directeur français à la MFJ
5	11	Récital de Piano avec conférence: La musique de danse en Europe de XVI <sup>e</sup> au XX <sup>e</sup> siècles. II. • Club des Nobles	M. Henri Gil-Marcheix
5	15	Conférence: Le rôle de l'Université de Paris dans le Procès de Jeanne D'Arc • IFJK	M. Léon Mazeaud
5	18	Conférence: Le Problème de l'Âme japonaise II. Âme japonaise et littérature française	M. Georges Bonneau
5	20	Conférence: Conception française des médecins • Société médicale franco-japonaise d'Osaka	Dr. Georges Patey
5	21	Conférence: Conception française des médecins • Faculté de médecine de l'Université impériale de Kyoto	Dr. Georges Patey
5	22	Conférence: Fonction d'un hôpital • IFJK	Dr. Georges Patey
5	25	Conférence: Abcès des poumons • Faculté de médecine de l'Université impériale de Kyushu	Dr. Georges Patey
5	25	Conférence: Quelques Maîtres de la musique française moderne. 3 <sup>ème</sup> série: Paul Dukas (avec projections)	M. Marcel Robert, Agrégé de l'Université, Pensionnaire à la MFJ
5	26	Conférence: Le groupe, responsable et victime. II. • Faculté de droit de l'Université impériale de Tokyo	M. Léon Mazeaud
6	8	Conférence: L'Histoire de Paris (avec projections)	M. Noël Nouët, Membre de la Société des Gens de Lettres de France
6	9	Conférence: Le groupe, responsable et victime. III. • Faculté de droit de l'Université impériale de Tokyo	M. Léon Mazeaud
7	3	Récital de piano • Kai-in Kwaikan (Kobe)	Concert donné par M. Gil-Marcheix sans le concours de la MFJ
7	6	Récital de piano • 2ème récital de piano chez S. A. I. le Prince Ri (Tokio)	Concert donné par M. Gil-Marcheix sans le concours de la MFJ
9	13	Conférence: Le Temps et la vie • Faculté de médecine et Faculté des sciences de l'Université impériale de Tokyo	Dr. Pierre Lecomte du Nôty, Directeur à l'École Pratique des Hautes Etudes à la Sorbonne
9	14	Conférence: Phénomènes physico-chimiques dans l'immunité • Université Nippon de médecine	Dr. Pierre Lecomte du Nôty
9	16	Conférence: Phénomènes physico-chimiques dans l'immunité • Faculté de médecine de l'Université impériale d'Osaka	Dr. Pierre Lecomte du Nôty

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

9	17	Conférence: Phénomènes physico-chimiques dans l'immunité • Faculté de médecine de l'Université impériale de Kyoto	Dr. Pierre Lecomte du Noy
10	7	Conférence: Les crises des affections cycliques • Faculté de médecine de l'Université impériale de Tôkoku	Dr. Georges Patey
11	2	Conférence: Autour de Mallarmé • IFJK	M. Marcel Robert
11	6	Conférence: Les Pactes de sang	M. le Prof. Léon Mazeaud
11	9	Récital de piano avec conférence: La vie musicale de Chopin à Paris • Club des Nobles	M. Henri Gil-Marchex
11	17	Récital de piano avec conférence: Les influences exotiques chez Debussy • Club des Nobles	M. Henri Gil-Marchex
11	18	Récital de piano • l'Ambassade de France	Concert donné par M. Gil-Marchex sans le concours de la MFJ
11	30	Conférence: Le moment de Baudelaire. I.	M. Georges Bonneau
1927	7	Conférence: Le mouvement des idées et l'évolution littéraire en France de 1870 à 1914	M. Paul Iseler, Agrégé de l'Université, Prof. à l'Athénée Français
12	14	Conférence: La personne humaine hors du commerce	M. le Prof. Léon Mazeaud
12	15	Conférence: La vie musicale à l'époque du symbolisme. I. • Université Keio	M. Henri Gil-Marchex
12	18	Conférence: Les thérapeutiques modernes de la méningite cérébro-spinale • Faculté de médecine de Nagoya	Dr. Georges Patey
12	21	Seance solennelle à la mémoire du Professeur Henri Capitant • Faculté de droit de l'Université Impériale de Tôkoku	en présence de M. Arsène-Henry, Ambassadeur de France, sous la présidence du Baron Reijiro Wakatsuki; discours d'ouverture du Baron Wakatsuki; conférences de M. Naôjirô Sugiyama; Henri Capitant et son oeuvre juridique (en japonais) de M. Kotaro Tanaka; Henri Capitant et la théorie de l'unification du droit (en japonais) de M. Léon Mazeaud; Henri Capitant et l'élaboration de la théorie française de la responsabilité civile; discours de clôture du Recteur Saburo Yamada
12	23	Conférence: La vie musicale à l'époque du symbolisme. II. • Université Keio	M. Henri Gil-Marchex
1	18	Conférence: L'esprit français et la musique. I (avec audition de disque)	M. Marcel Robert
1	25	Conférence: Le moment de Baudelaire. II.	M. Georges Bonneau
2	1	Conférence: Un Français au Japon il y a cinquante ans • Club des Nobles	M. Claude Farrère, de l'Académie française
2	8	Conférence: Les premiers rapports de la culture occidentale avec la civilisation japonaise. I. Les débuts des Portugais	R. P. Henri Bernard, Prof. à l'Université Aurore de Changhaï et l'Institut des Hautes Etudes de Tientsin
2	15	Conférence: Les premiers rapports de la culture occidentale avec la civilisation japonaise. II. L'entrée en scène des Espagnols	R. P. Henri Bernard
2	19	Conférence: Paul Valéry, poète de l'esprit • IFJK	M. Marcel Robert
2028	22	Conférence: Les premiers rapports de la culture occidentale avec la civilisation japonaise. III. Rivalités anglaises et hollandaises	R. P. Henri Bernard
2	23	Conférence: Art et religion	R. P. M. S. Gillet, Maître général de l'Ordre des Dominicains
2	25	Concert d'ouverture de la Société franco-japonaise des amis de la Musique • club des Nobles (Tôkoku)	avec le concours de Mme Charles Arsène-Henry
3	1	Conférence: Les premiers rapports de la culture occidentale avec la civilisation japonaise. IV. La fermeture du Japon aux gens des Philippines et de Macao	R. P. Henri Bernard
3	8	Conférence: L'esprit français et la musique. II (avec audition de disque)	M. Marcel Robert
5	3	Conférence: Rythme et mesure dans le Chant grégorien	R. P. Anouilh, Prof. au Grand Séminaire de Tôkoku
5	17	Conférence: Guillaume Apollinaire	M. Marcel Robert
5	24	Conférence: Le moment de Baudelaire. III.	M. Georges Bonneau

5	27	Conférence: Le préjudice causé aux collectivités (groupes sans personnalité) • Faculté de droit de l'Université Impériale de Kyoto	M. Léon Mazzeaud
7	12	Conférence: Le vrai symbole des certiers • Société de radiodiffusion de Tokio	M. Georges Bonneau
9	29	Conférence: L'amitié franco-japonaise • Société de radiodiffusion de Tokio	M. Neojiro Sugiyama, Membre de l'Académie Impériale, Prof. émérite à la faculté de droit de l'Université Impériale de Tokio
11	8	Conférence: Poésie d'après-guerre: I - Le Dadaïsme	M. Marcel Robert
11	15	Conférence: Poésie d'après-guerre: II - Les débuts du surréalisme	M. Marcel Robert
11	18	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, I. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	19	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, II. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	20	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, III. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	21	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, IV. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	22	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, V. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	23	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, VI. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	24	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, VII. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
11	24	Conférence: Le 40 <sup>ème</sup> anniversaire de la découverte du radium • Société de radiodiffusion de Tokio	M. Aikitu Tanakadate, Membre de l'Académie impériale, Prof. émérite de l'Université impériale de Tokio
11	25	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, VIII. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
12	5	Conférences: Le plus grand moment de la poésie française: le moment de Baudelaire, IX. • Faculté des lettres de l'Université Impériale de Kyoto	M. Georges Bonneau
12	6	Conférence: L'idéalisme dans le roman japonais contemporain	M. Georges Bonneau
12	13	Conférence: L'histoire de la Bretagne	M. Noël Nouët, Membre de la Société des Gens de Lettres, Prof. à l'École des langues étrangères de Tokio
12	14	Conférence: Le Japon de Lafcadio Hearn et le Japon d'aujourd'hui • Société de radiodiffusion de Tokio	M. Marcel Robert
1	18	Conférence: Stendhal, romancier, idéologue	René Trobas, Ancien élève de l'École normale supérieure, Agrégé de l'Université, Prof. à l'Université française
1	24	Conférence: Aux approches de la peinture extrême-orientale	M. Bernard Lucas, Ancien élève de l'École du Louvre
1	31	Conférence: L'art préhistorique de France	M. André Leroy-Gourhan, Prof. à l'IFJK
1	31	Conférence: L'œuvre française de collaboration intellectuelle au Japon • Société de radiodiffusion de Tokio	M. Léon Mazzeaud
2	7	Conférence: Les principes psychologiques des langues et la psychologie des peuples	M. Louis Marchand, Agrégé de l'Université, Directeur de l'IFJK
2	9	Conférence: L'âme japonaise et l'âme française • Société de radiodiffusion de Tokio	M. Louis Marchand
2	14	Conférence: Psychanalyse et métaphysique: l'avenir du freudisme	T. R. P. Saiveur Candau, Recteur du Séminaire régional de Tokio
2	21	Conférence: Musique d'après guerre: I. Erik Satie et "les Six"	M. Marcel Robert
2	27	Conférence: Infiltrations occidentales au Japon durant la période de fermeture (1614-1853): I - Le triomphe du mercantilisme antiégoïse	R. P. Henri Bernard, Prof. à l'Institut des Hautes Etudes de Tientsin
3	2	Conférence: Infiltrations occidentales au Japon durant la période de fermeture (1614-1853): II - Regués (sic) Ming à l'avènement des Mandchous	R. P. Henri Bernard
3	6	Conférence: Infiltrations occidentales au Japon durant la période de fermeture (1614-1853): III - Adoucissement de la censure au 18 <sup>e</sup> siècle	R. P. Henri Bernard
3	9	Conférence: Infiltrations occidentales au Japon durant la période de fermeture (1614-1853): IV - La grande encyclopédie de K. tengu	R. P. Henri Bernard

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

	3	9	Conférence Les relations médicales franco-japonaises • Société de rad-diffusion de Tokio	M. Shuzo Sato, Prof. à la Faculté de Médecine de l'Université Impériale de Tokio
	3	14	Conférence Les contrats sur le corps humain • Université l'Aurore à Shanghai	M. Léon Mazeaud
	3	17	Conférence Le rôle de l'Université de Paris dans le procès de Jeanne d'Arc • Alliance française de Shanghai	M. Léon Mazeaud
	3	19	Conférence La Maison franco-japonaise et la collaboration intellectuelle franco-japonaise • Station radiophonique française "Art et Culture" à Shanghai	M. Léon Mazeaud
	5	2	Conférence La personnalité et l'art	M. Paul Iseler, ancien élève de l'Ecole normale supérieure, Agrégé de l'Université, Prof. à l'Altenée français
	5	4	Conférence Un aspect des tendances de la médecine moderne	Dr. Boris Moyer
	5	8	Conférence L'abus d'un droit • Ministère de la Justice	M. Léon Mazeaud
1939	5	9	Conférence L'idée d'un cinéma de quatre dimensions	M. A. Zavrinsky, M. Sc. Ancien prof. de Mathématiques supérieures au centre technique de la concession française de Shanghai
	5	16	Conférence La peinture européenne au Japon pendant la période portugaise	M. Maurice Prunier, Chargé de cours à l'Université de commerce de Tokio et à l'Université de Keio
	5	20	Conférence L'abus d'un droit • Faculté de droit et des lettres de l'Université Impériale de Tôkyô (Sendai)	M. Léon Mazeaud
	5	27	Conférence Musique d'après guerre II - Quelques silhouettes	M. Marcel Robert, Agrégé de l'Université, Directeur de l'IFJK
	5	29	Conférence L'abus d'un droit • Faculté de droit et des lettres de l'Université Impériale de Tôkyô	M. Léon Mazeaud
	5	30	Conférence La femme mariée libre et capable ? (loi française du 18 février 1938)	M. Léon Mazeaud
	6	8	Conférence La femme mariée libre et capable ? (loi française du 18 février 1938) • IFJK	M. Léon Mazeaud
	7	9	Conférence Les grands Instituts de recherches médicales à Tokio • Société de radiodiffusion de Tokio	Dr. Boris Moyer
			1939年7月10日～1941年4月11日までの文化活動リストは見つからない	
	4	12	Conférence Nouvelles techniques de micromanipulation (avec présentation du film) • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	Dr. Boris Moyer, ancien Assistant au Laboratoire du Pathologie Exotique au Collège de France, ancien Assistant de clinique médicale à l'Hôpital du Val de Grâce, Pensionnaire à la M.F.J
	4	12	Conférence Philosophie de Claude Bernard • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	M. Eichi Nagamatsu, Dr. en médecine, Prof. à l'Université Impériale de Nagoya
	4	14	Conférence Phosphate d'éther dans le corps • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	M. Kazuo Hotta, Dr. en médecine, Prof. à l'Université Impériale de Nagoya
	4	14	Conférence Chirurgie française • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	M. Shin Saito, Dr. en médecine, Prof. à l'Université Impériale de Nagoya
	4	16	Conférence Le patriotisme de Pasteur • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	M. Seizo Katsunuma, Dr. en médecine, Prof. à l'Université Impériale de Nagoya
	4	16	Conférence Hypothérapie de Charcot • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	M. Naoki Sagita, Dr. en médecine, Prof. à l'Université Impériale de Nagoya
1941	4	16	Conférence Psychiatrie française • Faculté de médecine de l'Université Impériale de Nagoya	M. Otoyá Miyagi
	4	22	Conférence Survivances françaises au Canada	M. Frédéric Jotou des Longrais, Directeur à l'Ecole des Hautes Etudes Historiques de la Sorbonne, Archiviste paléographe, Directeur français à la M.F.J. Dr. en droit
	4	30	Conférence La première ambassade japonaise en Europe (1582-1592); les quatre petites [sic] princesses de l'Orient	R. P. Henri Bernard, Prof. à l'Université l'Aurore de Changhaï, et à l'Institut des Hautes Etudes de Tientsin
	5	6	Conférence Les ambitions mondiales de Date Masamune; la seconde ambassade japonaise en Europe (1614-1618)	R. P. Henri Bernard
	5	13	Conférence Le Japon en France à l'époque de la Renaissance	R. P. Henri Bernard
	5	15	Conférence Nouveau Kakemono "Dazaiji" • Société de Radio-diffusion de Tokio	M. Frédéric Jotou des Longrais
	5	20	Conférence Réflexions d'un peintre [sic] d'occident sur la peinture japonaise (avec projections)	M. Conrad Meili, Membre du Salon National Indépendant de Paris
	5	27	Conférence Résurrection d'Angkor I (avec projections) • Musées Impériaux de Tokio	M. Victor Goloubew, Membre de l'Ecole Française d'Extrême-Orient, Membre du Comité des Etudes Scientifiques, Dr. en philosophie

6	3	Conférence Resurrection d'Angkor. II. Traduite par M. Itsuji Yoshikawa. Licencié ès lettres • Musées Impériaux de Tokio	M. Victor Goloubew
6	10	Conférence L'Art Khmer: ses origines et son évolution (avec projections)	M. Victor Goloubew
6	17	Conférence La vie et les œuvres de François Mauriac	M. Paul Iseler. Agrégé de l'Université. Prof. à l'Athénée Français
6	26	Conférence Causeur sur le Laos (avec projections)	M. Victor Goloubew
6	28	Conférence Bouddhisme et art bouddhique en Indochine: Bouddhisme au Laos (avec projections) • Institut franco-japonais des études bouddhiques	M. Victor Goloubew
10	7	Conférence Géométrie et architecture. Le nombre d'or. Les tracés réguliers. Leur origine et leur réapparition dans l'architecture moderne (avec projections)	M. Florent Guillaïn. Architecte diplômé du Gouvernement français. Pensionnaire à la MFJ
10	21	Conférence Le manoir français, anglais et japonais Etude d'institutions comparées	M. Frédéric Jotou des Longrais
10	28	Conférence La féodalité à l'époque de Philippe Auguste, d'Henry II et de Yoritomo	M. Frédéric Jotou des Longrais
10	30	Conférence Les Rapports culturels entre le Japon et l'Indochine • Société de Radio-diffusion de Tokio	M. Frédéric Jotou des Longrais
11	4	Conférence Puits de Chavannes (1824-1883)	M. Conrad Meili
11	18	Conférence Les classes sociales en occident et au Japon au moyen âge	M. Frédéric Jotou des Longrais
11	25	Conférence Rikyu, maître de thé	Mme Kikou Yamata, Femme de lettres
11	27	Conférence La fête de la mer à Ito • Société de Radio-diffusion de Tokio	M. Frédéric Jotou des Longrais
12	2	Conférence Le voyage d'Alain Gerbault dans le Iles du Pacifique	M. Noel Nouët. Prof. à l'Ecole des langues étrangères de Tokio
12	9	Conférence Aperçu de la sculpture française de la Révolution à nos jours	M. Conrad Meili
12	16	Conférence En route avec le Poète Bashô. Présentation de la 2 <sup>ème</sup> patrie de l'Okuno-Hosomichi	R. P. Yves Cossard, Missionnaire
1	13	Conférence Les tendances actuelles de la linguistique française.	M. Jean Drans ancien Prof. à l'Université Royale de Bangkok, Pensionnaire à la MFJ
1	20	Conférence Les châteaux japonais à l'époque de Hideyoshi (avec projections)	M. Florent Guillaïn
1	27	Conférence Auguste Rodin, forçat de la gloire (1840-1917). I.	M. Conrad Meili
2	3	Conférence Auguste Rodin, forçat de la gloire (1840-1917). II.	M. Conrad Meili
2	10	Conférence Le mariage [sic] et le droit des gens mariés dans le passé du Japon et de la France	M. Frédéric Jotou des Longrais
2	17	Conférence La condition des enfants en France et au Japon au moyen âge	M. Frédéric Jotou des Longrais
2	24	Conférence Le régime des successions dans l'ancien Japon et en occident	M. Frédéric Jotou des Longrais
3	3	Conférence Les langues dans le Sud de l'Asie	M. Jean Drans
3	10	Conférence Les châteaux forts à l'époque de Tokugawa (avec projections)	M. Florent Guillaïn
4	14	Conférence Littérature française, 1941-1942	Mme Kikou Yamata, Femme de lettres
4	21	Conférence Dans l'attente ou les poésies de Marie Noel	M. Léon Prout. Ancien Prof. aux Universités d'Ankara et Kaunas. Prof. à l'Athénée Français
4	28	Conférence Liautey en Indochine	M. Robert Guillaïn. Correspondant de l'Agence Havas à Tokio. Dr. en droit
5	5	Conférence Les Jûraku dans les littératures d'Inde et indienne	M. Jean Drans ancien Prof. à l'Université Royale de Bangkok, Pensionnaire à la MFJ
5	12	Conférence Préface d'André Gide à Michel de Montaigne	Mme Kikou Yamata
5	19	Conférence Urbanisme colonial: Les villes de Indochine	M. Florent Guillaïn. Architecte diplômé du Gouvernement français, pensionnaire à la MFJ
5	26	Conférence Un juriste français romancier au XIII <sup>e</sup> siècle: Philippe de Rémi	M. Frédéric Jotou des Longrais. Directeur à l'Ecole des Hautes Etudes Historiques de la Sorbonne. Archiviste paléographe. Directeur français à la MFJ. Dr. en droit
6	6	Conférence Le droit et la vie au XIII <sup>e</sup> siècle par l'image: Miniatures inédites du Ms. de Beaumanoir-Berlin K. E. Hamilton B93 (avec projections)	M. Frédéric Jotou des Longrais
6	9	Une heure de Musique française (Debussy, Darius Milhaud)	le Quatuor Matsumoto
6	16	Conférence Quelques aspects de la littérature française contemporaine	M. Paul Iseler. Agrégé de l'Université. Prof. à l'Athénée Français
10	6	Conférence Santô Kyôden et le déluge	M. Pierre Humbertclaude. Chargé de cours à l'Université Impériale de Tokio. Dr. ès lettres
10	13	Conférence Les 60 ans de deux peintres: M. Ikuma Arishima et M. Hakorei Ishii	M. Conrad Meili. Membre du Salon National Indépendant de Paris
10	20	Conférence Le Manyôshû. Miroir du Japon: Aux écoutés des soldats qui chantent — Sakimori no uta	R. P. Yves Cossard. Missionnaire
10	27	Conférence Les îles dans le monde — Un chapitre de géographie humaine	M. Frédéric Noel Nouët. Prof. à l'Ecole des langues étrangères de Tokio. Membre et Représentant au Japon de la Société des Gens de Lettres de France

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

	11	10	Conférence: Quelques aspects du phonétisme français actuel	M. Jean Drans
	11	17	Conférence: Quelques écrivains féminins du Japon	Mme Kikou Yamata
1942	11	24	Conférence: La composition des plans dans l'architecture moderne — Effet de la technique nouvelle en Europe et au Japon	M. Florent Guillaïn
	12	1	Conférence: La féodalité japonaise et le sentiment national — Lors des guerres mongoles (avec projections)	M. Frédéric Jotou des Longrais
	12	15	Une heure de Musique française et un récital de Piano	Mlle Kazu[ko?], Kusama (piano)
	1	14	Conférence: La féodalité japonaise et le sentiment national * Société japonaise de Radio-diffusion	M. Frédéric Jotou des Longrais
	1	26	Conférence: Les origines de la peinture occidentale au Japon I: La période chrétienne et la période des études hollandaises	M. Conrad Meili
	2	2	Conférence: Marcel Proust et notre temps. I.: Le moi perdu	M. Robert Guillaïn
	2	9	Conférence: Marcel Proust et notre temps. II.: A la recherche du moi	M. Robert Guillaïn
	2	16	Conférence: Les jardins de France et leurs poètes	Mme Kikou Yamata
	2	23	Conférence: Les Dolmens en Armorique et au Japon	M. Noël Nouët
	3	2	Conférence: Aspect et tendances actuels du phonétisme japonais	M. Jean Drans
	3	9	Conférence: L'architecture contemporaine en France — Les architectes et leurs oeuvres	M. Florent Guillaïn
	3	16	Conférence: Les origines de la peinture occidentale au Japon. II: L'époque de Meiji: Trois pionniers de la peinture à l'huile, Chiu Asai, Kiyoteru Kurōda et Takeji Fujishima (avec projections)	M. Conrad Meili
1943	4	21	Conférence: Le Docteur Yersin * Club des Nobles	M. Henri Galliard, Doyen de la Faculté de Médecine de Hanoi
	4	21	Conférence: Le Professeur Calmette * Club des Nobles	M. Augustes Rivœalen, Prof. à la Faculté de Médecine de Hanoi
	5	18	Conférence: La réalité et la Fiction dans l'oeuvre de Marcel Proust	M. Maurice Prunier, Prof. à l'Université de Commerce de Tokio
	5	25	Conférence: Le témoin d'une époque heureuse: Marivaux et ses comédies	M. Léon Proux, Ancien Prof. aux Universités d'Ankara, de Koumas de Vilna, Prof. à l'Athénée Français
	6	7	Conférence: Le théâtre de Georges Courteline	M. Paul Iseler, Prof. à l'Athénée Français, Agrégé de l'Université
	6	8	Conférence: L'oeuvre de l'École des Chartes	M. Frédéric Jotou des Longrais, Directeur à l'École des Hautes Etudes Historiques de la Sorbonne, Archiviste paléographe, Directeur français à la M.F.I. Dr. en droit
	7	3	Conférence: Echange culturel entre le Japon et l'Indochine	M. Masayuki Yokoyama, Directeur de l'Institut Nippon-Indochinois de Hanoi
	12	7	Conférence: La musique française — Caractère et esprit	M. Jean Drans, Ancien Prof. à l'Université Royale de Bangkok, Pensionnaire à la M.F.I

リスト3 資料紹介 獨逸文化研究所 (1934-44)

年	月	日	行 事	講 演 者、 演 奏 者 等
1934	11	4	日本ケーテ協会昭和9年度大会	
	12	21	獨逸大使アイルクセン氏来所視察及びクリスマス祝賀会	
	2	10	ピアノの夕	原千恵子嬢 (日獨交友会主催)
	2	17	シムボルト遺品展覧会	
1935	4	10	(ヒットラー総統生誕記念日) 京阪女流音楽会記念講演：主事トラウツツ氏 (日獨交友会主催)	
	7	清浦総裁、武者小路實篤大使、ティルケセン、獨逸大使来所を迎えて歓迎茶会		
	10	10月20日より4日間シムボルト展覧会		
	11	3	創立1周年記念式、夜は音楽、映画、脚本朗読などを開催	獨逸グライダゲル界の権威ヒルト氏一行の一行ハウェア氏
	12	10	講演会	
	12	23	クリスマス祝賀会	
	5	8	演奏会	ピアノ：獨逸音楽使節 ウィルヘルム・ケンツ氏
1936	6	8	講演会：人種、種族、国家	獨逸大使館参事官 ドクトル・コルプ氏
	10	26	講演会：ルコック氏の中央アジアに於ける発掘物並びにその東域及び西部アジアの芸術史に対する意義	ハンガリー・ブダペスト市オランツ・ホッフ博物館長 タカウチ教授
	11	3	創立第2周年記念日/日本ケーテ協会の年度大会・講演会	ユエールト・ブーク教授、八高教授、三高教授、内山貞三郎氏
	12	12	日獨防共協定の祝賀会/講演会：正倉院に就て	原田清郎氏 (国際文化振興会主催)
	12	22	クリスマス祝賀会	
	4	28	講演会：精神科学の現代に於ける危機	ドクトル・シュブランゲン教授
	5	17	5月17日より「獨逸国宝芸術振展覧会」；デュラーやメンツェルらの作品を多数出品	(東京日獨文化協会と本研究所並びに京都市合同主催)
	5	18	講演会：獨逸国定名作展覧に就いて	ドクトル・メーレ氏
	5	22	講演会：新興獨逸国のスポーツ衛生	大阪市立衛生試験所技師 深田果氏
	6	15	講演会：原料問題を中心とせる獨逸国政府の四年計画	ブリーガー氏
	6	29	講演会：獨逸生物学者の見たる精太平洋旅行の印象	ドクトル・ラーム教授
1937	11	13	日本ケーテ協会大会/記念講演あり	東京大学教授 吹田氏：「ロココ時代のケーテ」 三高講師 ドクトル・ヤーン氏：「ケーテの平和祝典劇」 京大教授 成瀬氏：「ケーテと永劫回帰の概念」 ドクトル・トラウツツ氏：「ケーテと軍人階級」
	12	9	フィルム上映会	東京の獨逸国大使館より提供された教育フィルムを上映
1938	12	18	日獨伊樂舞のための夕/記念講演あり	京大教授 西田博士：「アムベルと日本文化」 ドクトル・トラウツツ教授：「シムボルトと日獨文化交流」 ドクトル・ストラウミニョーリ女史：「イタリヤの文化」
	11	20	大獨逸国展覧会 ・大阪市天王寺公園	(獨逸文化協会並びに獨逸文化研究所主催)
	12	4	講演会：現代獨逸に於ける教育と科学	獨逸国キール大学教授 ドクトル・フォン・デュルックハイム伯爵
	12	4	映画上映、茶話会	獨逸文化研究所に本部を有するケーテ協会の行事
	1	19	講演会：日本音楽の歴史の並びに華美学的基礎	新主事エッカルト博士
	2	9	講演会：日獨文化協定の意義に就いて	ドナー博士
	2	13	講演会：二十世紀の国家	ミュンヘン大学法学部教授、ケルロイテル博士
1939	3	4	ケーテ筆話の夕べ	研究所及びフリーターの会による開催
	4	25	公開講演会：科学の自由 (通訳あり)	東京音楽学校教授リア・フォン・ハッセルト女史、フェルメル氏の伴奏にてシムボルト及びヴォルフ作曲の エッカルト主事：「ケーテ時代の音楽」(レコード使用、解説あり)
	5	2	映画会：K・D・F映画「伊太利國遊覧行」【ベーターマン】	日獨交換教授 オットー・ケルロイター博士
	5	9	講演会	
	5	19	映画会：「十一月九日」「トラウムルス」「ズデーテンランド」	



資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

	5	23	講演会：彌逸現代受難劇と中世宗教劇（幻燈使用）	上智大学教授 杉野晶甫氏
	5	25	教授講師国文学研究会：ゲルハルト・シュエマン	京大文学部、第三高等学校講師 ドクター・エルヴィン・ヤーン氏
	6	5	講演会：国民社会主義彌逸の衛生政策	彌逸医師局外国部長医学博士 ヘーデンカムズ氏
	6	6	講演会：日本の鳥類（幻燈使用）	ヘルマン・ヤーン氏
1939	6	13	講演会：シュテファン・ゲオルグ	彌逸文化研究所助手 大山定一氏
	6	15	教授講師国文学研究会：フリードリヒ・シュナツク	ドクター・エルヴィン・ヤーン氏
	6	29	ピアノ演奏会：ヘンデル、スカルラッチェイ、モーツァルトより	大阪音楽女子専門学校教師 ルードルフ・ミュラー＝ジャビエイ氏
	11	2	ピアノ演奏会：ベートーヴェン、シューベルト、シューマンより	ルードルフ・ミュラー＝ジャビエイ氏
	11	10	講演会：新興彌逸国に於ける経済政策	東京帝国大学経済学部教授 荒木光太郎氏
	1	27	講演会：彌逸労働政策の組織と機能	京都帝国大学経済学部助教授 中川興之助氏
1940	2	17	講演会と映画上映：日蘭医学のタベ／講演会：骨髄裂傷による麻痺症の処置について	ヨーエ・ウィルヘルム、ヴイルツ博士 同時に医学映画7本上映（京都帝国大学医学部との共同主催）
	4	19	ピアノ三重奏の夕：ヘンデル、モーツァルト、リスト	堀井栄子嬢、曾木彌子嬢
	4	23	彌逸文化講座：彌逸芸術と退廃芸術 ・大阪学士倶楽部	彌逸文化研究所主事 ドクター・ハンス・エツカルト氏
	4	24	第2回彌逸研究会：カロツサについて	京都府立医科大学講師 白井竹次郎氏
	4	26	室内楽の夕：ヘンデル、シューベルト、モーツァルト	ヴァイオリン：ドクター・エルネスト・トマシチ氏 ピアノ：ルドルフ・ミュラー＝ジャビエイ氏
	5	15	映画試写会：勝利の歴史 ・松竹庵	（第16師団と共同主催）
	5	17	演奏会：ストラハ、ベートーヴェン、ショパン、リスト	ピアノ：小園登史子嬢
	5	21	ルドルフ・ミュラー＝ジャビエイ氏 帰郷告別演奏会：モーツァルト、シューベルト、ヴェーバー、ショパン	
	5	24	室内楽の夕：ポツケリーニ、モーツァルト、ベートーヴェン	第一ヴァイオリン：ドクター・エルネスト・トマシチ氏 第二ヴァイオリン：朝比奈隆氏 ヴァイオラ：小堀良作氏 チェロ：伊達三郎氏
	5	29	第3回彌逸研究会：ニーチェ及ローゼンベルクに於ける希臘精神	京都帝国大学および第三高等学校講師 ドクター・エルヴィン・ヤーン氏
	6	10	6月10日より同日15日までC・クルーゼ氏前経作品展覧会 ・丸物	
	6	12	第4回彌逸研究会：映画と演劇	
1941	6	16	京大学生彌逸研究会発会式	高知高等学校講師 ベルハルト・エーバースマイヤー氏 挨拶：京大法学部教授 黒田寛氏、ドクター・エツカルト氏、彌逸総理事代理ドクター・プロイナート氏、 法学部学生井上朝吉
	9	13	藤印方面より引き揚げの彌逸人招待茶証会	
	9	27	第4回彌逸結晶会日／同日講演会：母国の教育者としてのゲーテ ・京都日の丸倶楽部	彌逸文化研究所主事ドクター・ハンス・エツカルト氏
	10	2	第5回彌逸研究会：シュテファン・ゲオルグに就いて	京都帝国大学文学部講師 大山定一氏
	10	3	彌逸文化講座：ゲーテのファウストに就いて ・大阪学士倶楽部	第三高等学校教授 内山貞三郎氏
	10	6	彌逸文化講座：ゲーテのファウストに就いて ・大阪学士倶楽部	第三高等学校教授 内山貞三郎氏
	10	7	京都市生彌逸研究会のなめの映画会：文化映画の夕	
	10	8	彌逸文化講座：彌逸国家に対するゲーテの態度 ・大阪学士倶楽部	彌逸文化研究所主事 ドクター・ハンス・エツカルト氏
	10	16	第6回彌逸研究会：新しい文芸学の出発	第八高等学校教授 渡常良氏
	10	22	彌逸文化講座：ゲーテの夕：パツハ、《ゴルトベルク変奏曲》	伯林国立音楽院教授 エータ・ハーリツヒ・シュナイダー女史
	10	29	彌逸文化講座：彌逸精神の表現としてのニーベルンゲン之歌 ・大阪学士倶楽部	文学博士 雪山俊夫氏
	10	30	彌逸文化講座：彌逸精神の表現としてのニーベルンゲン之歌 ・大阪学士倶楽部	文学博士 雪山俊夫氏

11	6	第7回獨逸研究会：獨逸に於けるクラヴィコード音楽（クラヴィコードによる実例付き）	伯林国立音楽院教授 エータ・ハーリッヒ・シュナイダー女史 チェムハロ；エータ・ハーリッヒ・シュナイダー女史 第一ヴァイオリン：島田猛氏 第二ヴァイオリン：小杉博英氏 第一ヴィオラ：堀比奈藤氏 第二ヴィオラ：小川一郎氏 チェロ：伊達三郎氏 コントラバス：伊佐田耕一氏
1941	9	パッサハの方（一般公開）	
11	13	秘密顧問官ウォーレン・ドクトゥー氏以下獨逸国経済使節団一行来所 同日午後公開能楽堂において「柳舟慶」の上演。上演に先立ち、能楽に関する講演	獨逸文化研究所主事 ドクター・ハンス・エックハルト氏
11	13	第8回獨逸研究会：コルベンハイヤーの戯曲論	浦和高等学校教授 上村清延氏
11	15	京都学生獨逸研究会 講演会：ドイツの自然感情	ドクター・ゼッケル氏
11	16	第10回「日本ゲーテ大会」	
12	21	クリスマスマス祝賀会。日本音楽の演奏および舞踊	
1	23	大日本青年団員のための講演会：ヒットラー ユーゲントに於ける軍事予備訓練	獨逸国大使館文化部長兼ヒトラー青年少年団代表 ラインホルト・シュルツェ氏 文化映画の上映あり（京都府社会教育課と共同開催）
2	19	第9回獨逸研究会：獨逸の国防国家	京都帝國大学教授 黒田覚氏
2	26	第10回獨逸研究会：獨逸情報主義の史的発展	東京商科大学教授 吹田順助氏
2	27	講演会	医学博士 盛新之助氏：「網膜剥離の手術的療法」 東大教授 佐々貫之氏：「バルキンソニスムスの経過及予後について」（日獨医学会と共同主催）
3	3	獨逸文化講座：ナチス獨逸の労働資金政策 ・大阪学上俱楽部	京都帝國大学助教授 中川與之助氏
3	5	講演会・座談会：獨逸に於ける勤労奉仕（幻燈版使用）	
3	6	獨逸文化講座：獨逸の戦時下経済立法 ・大阪学上俱楽部	獨逸文化研究所助手 ヴィルヘルム・ロエール氏（京都府社会教育課と共同開催）
3	7	獨逸文化講座：獨逸の戦時下経済立法 ・大阪学上俱楽部	阪神駐留獨逸国総領事 カール・アウグスト・バルザー氏
3	11	獨逸文化講座：獨逸の国防国家 ・大阪学上俱楽部	阪神駐留獨逸国総領事 カール・アウグスト・バルザー氏
3	13	獨逸文化講座：獨逸対内文化政策 ・大阪学上俱楽部	京都帝國大学教授 黒田覚氏
3	16	獨逸文化講座：獨逸に於ける勤労奉仕 ・大阪学上俱楽部	獨逸文化研究所主事 ドクター・ハンス・エックハルト氏
3	19	第11回獨逸研究会：士土なき民族に現れたる諸概念に就て	獨逸文化研究所助手 ヴィルヘルム・ロエール氏
4	12	4月12日から同月19日まで中近世獨逸絵画展覧会	元第三高等学校教授 岩子良一氏
4	15	獨逸研究会学術講演会：自然の哲学	伯爵 ドクトル K・V・チェルクハイム
4	28	獨逸海軍の人影芝居：二つの獨逸の真話	
4	30	獨逸海軍の人影芝居：二つの獨逸の真話	
5	25	映画の夕	
1943	6	洋琴の夕・ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューマン	
6	12	映画の夕：ドイツ風物に関する映画	ドイツ音楽の都ザウブルク、ザイーンとベルリンに関する映画 解説：獨逸文化研究所主事 ドクトル H・エックハルト氏 伯林音楽院教授 E・ハーリッヒ・シュナイダー夫人
6	24	獨逸研究会学術講演会：獨逸及び日本の舞台芸術（幻燈使用）	
7	8	映画の夕：ドイツ風物に関する映画	エルヴィン・總之助・ベルツ
9	25	上映会：「世界に告ぐ」特別上映	
10	14	獨逸研究会学術講演会：文学と哲学の關係	東京帝國大学、學部院講師 ドクトル ロベ르트・シンチンガー氏

資料紹介 関西日仏学館（京都）に関する資料（藤野）

		開会の辞 日本ゲーテ協会会長 京都帝大教授 成瀬清氏 講演 第一高等学校教授 菊池泰一氏：「ゲーテの『落ちのびた人々の談話』」 松江高校講師 ドクトル ハンス・シュヴァルベ氏：『Hat Deutschland einen Mythos? (獨逸に神話ありや?)』 關根三氏：『美術に現れた力』 シュエーベルト作曲になるゲーテの詩歌朗唱：藤島晴子夫人、ヘルタ・シュエーベルト夫人 伴奏：中瀬古和子夫人
1943		10 30 歌曲の夕・ブラームスの歌曲 11 13 京都帝大文学部獨逸文学専攻学生出陣を祝してキョルナー作「ツリニー」終幕を上演 (日本語) 12 25 獨逸研究会学術講演会：獨逸文学にあらはれたる印度の影響 12 14 映画の夕：獨逸における人と風景 12 16 獨逸研究会学術講演会：獨逸精神と日本精神 批判と比較 2 3 獨逸研究会学術講演会：獨逸浪漫派の世界的意義 2 17 音盤演奏会「浪漫派室内音楽」：シュエーベルト弦楽五重奏 へ長調 3 16 音盤演奏会：ハッハ《アラリアンツァルク協奏曲》1-6 3 23 獨逸研究会学術講演会：獨逸における人と風景
		浦和高校教授、文学博士 上岩清延氏 解説：獨逸文化研究所副主事 B・エーヴェスマイヤー氏 東京帝大教授 文学博士 吹田順助氏 京都帝大文学部講師・獨逸文化研究所副主事 大山定一氏 解説：獨逸文化研究所副主事 B・エーヴェスマイヤー氏 解説：獨逸文化研究所主事 ドクトル H・エックハルト氏 松山高校講師 ドクトル H・ヒョルナー氏